

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	松山市役所			〔研修担当者： 巻田 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 15 日 ～8 月 19 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	J020015	
			氏 名	金子愛菜	
研 修 内 容	・保育幼稚園課の事務作業 ・市民担当、施設担当の役割、機能の説明 ・松山市の保育園、幼稚園、認定こども園の現状や入所方法等の説明 ・松山市の市立幼稚園、公立保育園への訪問、視察 ・イベントのノベルティ作成 ・保育園等の入所のための相談窓口の見学 ・各部署に配属された研修生によるインターンシップ報告会				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	今回のインターンシップを通して、働くということは自覚と責任を持って社会とつながるということだと考えました。松山市役所で働く職員の方とコミュニケーションをとったり働き方を見せていただいたりしたことで、一人ひとりの職員の方が地域住民の基盤を作る立場として、責任を持って仕事をしているということを強く感じました。また、ただ仕事をこなすだけでなく、松山市をよりよい地域にするためにどのようなことができるのか、一人ひとりが考えを持って仕事をしていると感じました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の研修を通して、実際に仕事を体験することの重要性を学ぶことができ、より多くの仕事を実際に体験してみたいと思いました。また、インターンシップに参加した学生とコミュニケーションをとったことで、就職活動への意識や緊張感が高まり、できるだけ早く希望する就職先を決め、専門的な勉強や面接練習をするべきだと感じました。				
インターンシップに参加しての感想など	今回、松山市役所のインターンシップ研修に参加したことで、普段の学生生活では経験できない貴重な経験をさせていただくことができ、就職活動に対する意識を高めるとともに、自分に向いている仕事や、強みを活かせる職種等を知ることになりました。今回の研修で学んだ経験を活かし、自分の将来に繋げていきたいです。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	npo 法人いよこコロザシ大学〔研修担当者：西村浩子 様〕			
研 修 期 間	2022 年 8 月 22 日 ～ 8 月 31 日 (実働 8 日間)	研 修 生	学 籍 No.	p022009
			氏 名	越智 沙莉果
研 修 内 容	子どもと遊ぶ (勉強を教える、物を作る、ドッジボールなど)			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	今回のインターンシップでは、働くということよりもボランティア活動に近かったがその中でもお金をもらうことで生まれる責任感だったり、社会人とアルバイトの違いは何より責任感の重みが違うことだったと感じた。また、子どもと遊ぶ中でも、けがをさせないように気を付けたり、友達同士で嫌な思いがないよう気を付けていくうちに、幼稚園や小学校の先生は本当に偉大だと思った。やはり責任の重さが全然違うと思った。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップでいろいろな子どもたちに出会えたおかげで、いろいろなことを学べた。見た目や外見だけではなく中に入ってみないと気づけないことが分かった。このことは、今後の学校生活や人間関係にもものすごく大切なことだと思うので、それに気づかせてもらえて本当に良かった。また、もともと人とコミュニケーションをとるのでは上手いほうではないが今回のインターンシップでコミュニケーションは本当に大切だと気づけたので今後生かせるように頑張りたい。			
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップに初めて参加し自分が想像した以上に大変で、最初の4日間はネガティブな感情しかわかなかったが、最終日みんなと別れるのを寂しく感じ、自分の中で達成感を感じた。子どもといっても一人の人間で私たちよりもっと感性が豊かで個性的で関わりにくい子たちもいたが、最終日は仲良くできてよかった。また、男の子は喧嘩が多く止めるのに苦労した。良い意味で自分の小学校時代を思い出した。子どもたちは経験したことのないことにたくさん出会うし、人間関係など苦労することがたくさんあると思うので、大人の人達が大切だと思った。改めて、大事な時期だということを感じた。また今回のインターンシップで自由と放任の違いを知ることができよかった。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ホテル八千代			〔研修担当者： 上山結衣花 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 18 日 ~ 8 月 25 日	研 修 生	学 籍No.	P022037	
	(実働 5 日間)		氏 名	村上琉奈	
研 修 内 容	経営戦略、一流のおもてなしと接客心理学などの講義 ホームページ作成 ブランディングについて 接客話法				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	社会人になると責任感や礼儀作法など、知らないといけないことばかりで、社会人になるのは少し怖いと思っていました。しかし、インターンシップ研修を終え日々様々なことに挑戦したり自分なりに工夫してお仕事をしたりしている従業員の方々を見て、新しい自分を発見できるのが働くということなのかなとポジティブに考えられるようになりました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は、接客業のお仕事に就きたいという漠然とした夢を持っています。しかし、具体的な職業は見つかっていません。今回、講義や実際にお客様の前に出ておもてなしをする中で自分の行動で他の誰かに喜んでもらうことの嬉しさをあらためて感じた研修期間でした。講義でおっしゃっていた固定概念に捉われない営業戦略というところで人は平均より成長するには固定概念を壊していくことが必要だと言う言葉に心を奪われました。こうあるべきだ、こうすべきだという考え方を持つことは、楽な考え方であるため決められたものから抜け出すのは簡単なことではありませんが、それらを取っ払って新しい視点から物事を見ることの大切さを学びました。				
インターンシップに参加しての感想など	おもてなしとは、こだわりを提供すること、要望の先に答えることであると知りました。要望の先に答えるためには EQ を高めることが必要であり、お客様に喜んでいただくために、そして働きやすい環境を作るために大切であることを学びました。私はアルバイトで飲食店の接客サービスを主に行なっているため、今回学んだ EQ を高め、一人一人のお客様に喜んでいただけるようなおもてなしをしていきたいと思いました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	あけはまシーサイドサンパーク株式会社〔研修担当者:堀本高史 様〕		
研 修 期 間	2022 年 8 月 15 日 ~ 8 月 19 日 (実働 5 日間)	学 籍 No.	P021003
		氏 名	岩井結子
研 修 内 容	・サービス業(温泉施設、キャンプ場、宿泊施設)レストランでの配膳、フロント業務補助 ・大浴場清掃、ルームメイキング、シャーベットハウスでの接客 ・施設内外の清掃 ・事務所兼作業所、(事務、雑務)		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	初めは働くということに関してただお金を稼ぐためという漠然とした印象しかなかったが、研修を通して、働くことは社会で生きるための重要なルーツであると考えた。研修の中で社員の方や同じ研修生、お客様など多くの方と過ごし働くということは、多くの協力や地域での生活があってこそ成り立つものであると感じた。 人と人が繋がるために働くということがあり、この繋がりは一期一会であるい切ることにつながっていると感じた。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の研修から、今後の生活に生かしたいと考えることは恐れずに自らが行動することである。普段面倒なことを後回しにしてしまったり、行動することが遅れてしまいがちであった。しかし今回の研修から、自身の損得勘定で生きるのではなく、他者のことを考えて行動することが重要であると考えた。これからは人のために自らが動けるような心がけをしたい。		
インターンシップに参加しての感想など	まず、自身の建てた目標をきちんと達成できてよかったと思う。以前までは働くイメージにマイナスなものも多かったが、協働する大切さや働く面白さが知れたと考える。 自然豊かな土地で働く日々は非日常的で貴重な体験になった。身につけた力を今後活かしたい。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社レスパスコーポレーション [研修担当者: 西村澄子 様]		
研 修 期 間	2022 年 8 月 29 日 ~ 9 月 2 日 (実働 5 日間)	学 籍 No.	p021008
		氏 名	吉良優梨愛
研 修 内 容	リネン、フロント、ホール・販促の体験、グループワーク、POP 作成		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	自立することが社会人になるにおいて重要なことであり、今回のレスパスコーポレーションでのインターンシップの場合では、お客様に喜んでいただけるようにするためにはどのような工夫をしていくべきかを常に考えながら働くことが、仕事をするにおいて重要なことだということを学ぶことができた。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回は利楽・樹楽をより良くするためにはどのような工夫をすべきなのかを考えることがメインのインターンシップだった。少し値段が高くなっている理由と利楽・樹楽がメインではあるが、レスパスコーポレーション全体の魅力について調べて知ることができた。この経験を通して、動いたり企画を考えたりすることが好きだという自分の興味のあることに気づくことができた。企画制作の仕事はとてもコミュニケーション能力が必要となる。自分の好きなものを仕事にすることができるようには、気になった職場があればそこではどのようなことをしているのかを調べていきたいと思う。		
インターンシップに参加しての感想など	PR をする際に、特定の場所だけでなくその場所に関与している場所についてもよく知っておく必要があり、関与している場所とどのように協力をすれば、お客様の目に留まり、行ってみたいという気持ちになるのかということをディスカッションや第三者からの意見を取り入れて行っていくことが大切だということを学ぶことができたインターンシップだった。ビジネスでの挨拶や姿勢、企画制作の際の言葉の選び方について学ぶことができた。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	愛媛県警察本部			〔研修担当者:村上雄紀様〕				
研 修 期 間	2022 年 9月5日 ～9月9日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	p021020				
			氏 名	原田麻未				
研 修 内 容	1日目 開会式・オリエンテーション・通信指令課見学・警察学校見学・交通鑑識業務体験・高速隊業務体験 2日目 警察署、交番見学・鑑識業務体験・科捜研業務体験・遺失・拾得受理体験 3日目 逮捕術、護身術訓練体験・職務質問体験・サイバー犯罪捜査体験・災害警備活動教養・グループワーク 4日目 無線施設見学・機動捜査隊見学・交通管制センター見学(交通機動隊庁舎見学)・音楽隊訓練見学・白バイ訓練見学・夜間視認性訓練体験 5日目 機動隊訓練体験・警護訓練体験・意見交換会、修了式・制服着用体験、装備品着用体験							
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私は、コミュニケーションと責任感が必要になってくると考えます。 コミュニケーションについて、学生は、多少の上下はあっても近い年代間での付き合いが主流です。また入試制度によってある程度似た能力を持った仲間が集まります。しかし社会人になると、さまざまな年齢の多種多様なバックグラウンドを持った、能力も価値観も幅広い人たちと関わることになります。そのため、より互いの立場を理解したコミュニケーションが必要になります。 責任感について、例えばテレビで有名企業の社員が逮捕された時など、社名が報道されることがあります。犯罪でなくても、取引先との関係の中で信頼関係を壊すような振る舞いをしてしまうと、個人の話ではなく会社の責任問題になってしまいます。学生と比較して、責任の重さや影響力が増大するので、トラブルや不利益を招かないためにも強い自覚が必要なのではないかと思います。							
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	インターンシップ研修に行って、学生生活でやってみようと思うことがあります。それは、「メモを短く簡潔に」書くということです。今回のインターンシップでは、1日目からたくさんの場所を見学させていただきました。そしてメモをとる量も勿論多いのですが、私はメモをとるとき、一文が長くなってしまっていました。インターンシップ研修では、愛媛大学・松山大学・聖カタリナ大学と、様々な大学の方たちがいらしていました。その人たちと交流する中で、メモを見せてもらいました。他の人たちは短く簡潔にメモと取っていましたが、私は長く書きすぎていたため、話の最初の部分が聞き逃すということをしていました。ですので、後期の授業では「短く簡潔に」メモをとるということをしていこうと思いました。							
参加しての感想などに	今回のインターンへは、元々関心を寄せていた警察官になるためにはどうしたらよいか、具体的な業務内容を具体的に知りたいという思いで参加しました。5日間のプログラムを通じ、実際に業務体験や業務見学を行えたことで働き方や事業内容に対するイメージを具体化させることができました。警察官になりたいと願うばかりではかなわないので、実際に現場での仕事を体験し、各課担当の方々のお話を伺うことでイメージよりもさらにやりがいのある仕事が多く非常に感銘を受けました。就職活動を行うにあたって、今回のインターンシップを通じて得た経験を活かし、より警察官への就職を目指そうと感じました。							

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社 西条産業情報支援センター様[研修担当者: 大石忍 様]		
研 修 期 間	2022 年 8 月 22 日 ~ 8 月 26 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍 No. p020005
		氏 名	大野 あゆみ
研 修 内 容	5 日間で 3 つの西条市内の企業様を訪問し、企業PR動画を各自で 1 つ完成させる。 ビジネスマナー講習、模擬面接、座談会		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私は、社会人になるということは挑戦できる幅や大きさが広がることではないかと考えました。どうしても社会人という責任が増え、あまり自由に自分らしく働くことが少ないのだと考えていましたが西条市内の企業の方や、担当の方々と接する中で、自分でもっとよりよくしようと考えて、動いている方々、の多さと、楽しさに魅了されました。 社会人という責任の中で、自分のやりがいやもっとよくしようとする挑戦が色々できるのではないかと考えました。 社会人になっても自分らしさを大切にしていきたいと感じました。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は、今回の研修を通して、他者の価値観を認め、認識し、自分とどう関わりあっていくことの大切さを学びました。5 日間宿泊型の研修で初めはとても緊張していて弱音の連絡を友人や家族にしていたのですが、次第に、打ち解けていき最終日はとても悲しく、まだインターンを行いたいと思うようになりましたその中で私が感じたことは、他者を優しく受け止める人が多いと感じました。私は、人に対して苦手意識が強くあり、自分と合わないと感じた人とは関わらないようにしていました。ですがそんなことでは社会でやっていけないと思います。他者のことを受け止めることが簡単なようで難しいと改めて感じた 5 日間でしたが、自分にはまだ足りていないとことだったと感じました。学校生活や就職活動にしっかりと活かしていきたいです。		
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップに参加してみて、自分の可能性や自分の良いところが多く見つかり、自分に少し自信がつくようになりました。 自分なんかと思わずに、自分のこれまでの頑張ってきたことや経験をしっかりと生かして次に繋げていきたいです。 また、知っていることが増えるとこんなにも見方が変わるのだと感じました、就職活動に限らず、日々の生活にも生かしていきたいです。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	松山総合開発株式会社 ANA クラウンプラザホテル松山 〔研修担当者: 西原夕起 様〕						
研修期間	2022 年 8 月 25 日 ~ 8 月 31 日 (実働 6 日間)	研修生	<table border="1"> <tr> <td>学 籍No.</td><td>P020006</td></tr> <tr> <td>氏 名</td><td>岡崎琴弓</td></tr> </table>	学 籍No.	P020006	氏 名	岡崎琴弓
学 籍No.	P020006						
氏 名	岡崎琴弓						
研 修 内 容	1 日目: 自己紹介、PDCAを用いた目標設定、マナー研修、社内見学 2 日目・3 日目: 宿泊部門の体験(客室管理の業務、ベルの業務、清掃の業務) 4 日目・5 日目: 宴会部門の体験(宴会スタッフの業務) 6 日目: PDCAを用いた目標の振り返り、テーマ「社会人になるためには？」のグループディスカッション)						
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私が体験したすべての部署を通して感じたのは、スタッフ内でのコミュニケーションが最も重要であるということです。人と接するイメージがあまりなかった清掃スタッフは、お客様とのコミュニケーションはほとんどないものの、客室管理を行うチェッカーとの連携が取れていないと、間違っただけのお客様に提供してしまい兼ねないと分かったからです。また、宴会部門では、スタッフ皆の仲が良く、些細な会話を楽しみながら、ちゃんとしなければいけない時にはしっかり切り替えて連携を取りながら行っていました。そのため、どの業界に入ったとしても、まずスタッフ同士でのコミュニケーションを心がけることが大切だと感じました。						
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の研修を通して、担当してくださった西原さんからのアドバイスにもあったように、自信が足りないところが自分の弱みだということに気づきました。ベル業務の 2 日目は、お客様のアテンドなどを積極的にできたが、1 日目は、「間違っていたらどうしよう」という気持ちがあり、上手くアテンドできなかったり、笑顔を忘れていた時がありました。こういった気持ちが生まれるのは、最初に業務の内容や目的をしっかりと確認できていなくて、自信がなくなるためであると考えたため、今後の学生生活や未来の自分探しでは、最初に目的を明確にして物事に挑みたいと思います。そのために、今の自分には何が足りなくて、逆に、今までと同じように大切にしていっていいものは何なのかを明らかにして、今何をすべきなのか、計画性を持って行動していきたいです。						
インターンシップに参加しての感想など	研修に参加するまでは、ホテル業ではお客様と関わるが多いため、お客様とのコミュニケーションが一番大切だと思っていました。もちろん、お客様とのコミュニケーションは大切で、お客様のご要望にお応えし、プラスαのサービスをしてお客様に満足していただくことが仕事ではあるが、それを実現するためには、従業員同士でのコミュニケーションが必要不可欠になってくるということは、研修を通して学びました。スタッフ一人一人がお客様とのコミュニケーションを心がけていたとしても、従業員同士での連携が取れていないと、お客様に対して間違っただけのサービスをしてしまい、不快感を与えてしまうかもしれないため、同じ部署間だけでなく、他の部署とのコミュニケーションも大切にして、チーム全体で協力することが大切だと学びました。						

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ファインデックス〔研修担当者： 和田将克 様〕		
研修期間	2022 年 9 月 5 日 ～ 9 月 9 日 (実働 5 日間)	研修生	学 籍No. P020018 氏 名 田中伶実
研 修 内 容	● ビジネスマナーについて ● 電話対応について ● 医療システムについて ● セットアップの作成 ● システムの構築 ● 営業体験		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	1 日目にビジネスマナーについて学びました。基本的なことかもしれませんが、初めて学んだことがたくさんありました。日常生活で当たり前にとっている行動は社会の場ではしてはならないタブーな行動もあって自分一人の軽率で無知な行動のせいで会社全体のイメージを傷つけてしまうこともあると感じました。ビジネスマナーを守ることは自立した社会人に繋がると感じました。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	まず今回のインターシップに参加に参加したことで磁針に繋がりました。自分は本当に社会に出られるのか不安を感じていましたが、この 5 日間を通して自分の強みを知ることができました。それは人とのコミュニケーションをとることが向いていて営業という部門が向いているのかかもしれない、と思えたことです。営業体験をさせていただいたのですが、人に商品の良さを伝える楽しさや、会社の商品を買っていただけるように導いていくことのやりがいを感じることができました。将来営業職という選択肢もいいかもしれない、と視野を広げることができました。これからの就職活動に繋がれたらと思います。		
インターンシップに参加しての感想など	5 日間の中で本当にたくさんのカリキュラムを組んでいただき多くの経験をさせていただきました。2 日目と 3 日目はシステムの構築をしました。私はシステムの知識がないのでとても難しかったのですが指導員の方と他大学のインターンシップ生にたくさん助けていただいてやり遂げることができました。自分には無理だと思っていたことも諦めない気持ちと周りの支えに頼ることでやり遂げることができるということを学びました。 また、ビジネスマナーや電話対応についても学びました。ビジネスの場での動作や言葉遣いなど、普段から意識することでビジネスの場で立派な社会人として行動できるのではないかと思います。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ホテル八千代			〔研修担当者： 上山結衣花 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 18 日 ～ 8 月 25 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍 No.	P020021	
			氏 名	徳本梨音	
研 修 内 容	お客様満足度向上の施策と実践講義：経営戦略と今後のビジョン・ホテル業界の動向について学びました。また、一流のおもてなしと接客心理学の講義を受けました。 マーケティング戦略：マーケットの分析やブランディング、八千代のホームページ作成の体験、口コミ返信の体験を行いました。 サービス部接客係：一人一人先輩についていただき、実際にお客様のお迎えや料理の準備、配膳を行いました。着物を着て活動しました。 最終日にはフィードバックの時間がありました。				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	「働くこと」・「社会人になること」について、その道のプロとして、人として成長しようと積極的にチャレンジすることが求められていると感じました。その職場だけで通用する力ではなく、どこに行っても生きていける「人としての魅力」を身に付けることも大切だと思います。 また、EQ(心の知能指数)を向上させることで自分自身が生きやすくなったり、職場の人間関係がよりよいものになったり、その力がお客様へのおもてなしに繋がっていくことを学びました。自分が経験したことや考えたことを伝え共有することは難しいですが、それが一番重要なコミュニケーションであり、人に感動を与えられるのだと思いました。 さらに、整理整頓や身だしなみなどの基本的なことこそが、業務の効率化に影響を与えるということを実感しました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	心理学研修で人の心を動かす言葉遣いや行動を学んだので、まずは身近なアルバイトで実践してみようと思います。 また、おもてなしとは要望に応えることだけでなく、要望の先を自ら考えて提案することであるとご指導いただいたことを意識し、状況を見て自分で判断することを大切にしていきたいです。 さらに、自分の持っている力を最大限に引き出すことでより社会に貢献できる機会が増えると思うので、今後自分の良いところを伸ばすことができるよう、フィードバックで褒めていただいた部分や、自分で足りないと感じた部分を見つめ直そうと思います。				
インターンシップに参加しての感想など	「固定概念にとらわれない」という会社内の指針を体現されており、マニュアル無しに自分で考えたことを実践している先輩方の姿に刺激を受けました。「八千代にもう一度来たい」と思えるおもてなしには工夫が散りばめられていて、自然と心が温まりました。 ご指導くださった方々の中には私よりも若い人がいて驚きましたが、皆さん穏やかで柔らかい雰囲気、料理や設備だけでなく「働いている人」の魅力を肌で感じることができました。サービスとおもてなしの違いも学ぶことができ、お客様も従業員も満足できるようなこだわりや価値観に影響を受けました。 また、皆さんが「私たちは奴隷じゃない」と仰っていたことが印象的で、自ら考えて提案することもおもてなしの一つだということに感銘を受けました。フィードバックの時間まで設けていただいて、お忙しい中貴重な経験をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	伊予鉄総合企画株式会社[研修担当者: 多田早希 様]		
研 修 期 間	2022 年 8 月 2 日 ~ 8 月 5 日 (実働 4 日間)	学 籍 No.	P020023
		氏 名	永田香菜子
研 修 内 容	・予鉄総合企画株式会社の説明 ・事体験: 広告事業、人材ビジネス事業、DX 推進事業、指定管理運営事業(えひめこども白でのスタッフ体験) ・インターンシップの振り返りとまとめ		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	インターンシップ研修を終えて、「働くこと」は自分自身のスキルアップだと考える。会社の求める目標や目的、企業理念にそって自分の能力や学び生かし、成長していくことだと考える。 「社会人になる」ということについては、責任が重く大きなものになるということと考える。発言、行動だけでなく、体調管理や時間の管理、経済的な管理も大切だと感じた。会社で働くうえでもそうだと言えるし、社会での立ち位置的にもそうであると言えると思う。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップ研修成果として、1 番身についたことは時間意識についてである。時間に余裕をもって行動することや、時間内に仕事を終わらせることの大切さを学んだ。このことは、学生生活でも生かせると思う。授業が始まる前の 5 分前には席につけるように通学するようにしたり、課題提出に間に合うように余裕をもって取り組むということである。今までできていたり、できていなかったりしていたので意識していきたい。未来の自分探しには、時間の使い方を考えていきたい。いつまでに何をするという風にして時間を意識して生活していきたいと考えている。うまく時間を使い自分探しができるといいなと考えている。		
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップ研修の 4 日間を振り返ってみると、伊予鉄総合企画株式会社のほとんどの事業を体験できたことは自分にとって興味のある事や得意なこと不得意なことを知るきっかけになった。今まで、自分の興味のある業種が分かっていなかったり、仕事をするうえで何が得意か不得意か分かっていなかったため、様々な事業を体験することで自分について知るきっかけになった。特に、広告事業の仕事体験で企画立案をする際に、それまで苦手意識がありどうしようと思っていたが、調べたり考えていくうちに、楽しいと感じるようになった。実際に経験してみないと自分はどう感じるのかわからないものだと感じた。これらのことを踏まえて、これから挑戦するということを大切にしていきたい。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	国立大洲青少年交流の家〔研修担当者： 高木啓吾 様〕			
研 修 期 間	2022 年 8 月 27 日 ~ 9 月 3 日 (実働 7 日間)	研 修 生	学 籍 No.	p020026
			氏 名	松浦日向子
研 修 内 容	○社会教育と社会教育施設の現状と課題 ○施設の概要と運用 ○活動プログラム体験 ○施設設備の補助 ○対処点検 ○運営補助 ○その他作業			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	インターンシップ研修に参加するまでは、社会人になること自体に興味や関心がなく、知識もありませんでした。しかし、このインターンシップ研修を通し、社会人になることのイメージが見えてきました。いい意味での焦りや不安も生まれたのはいい学びでした。働くことは自分が思っているほど簡単でないことも学べました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップ研修では自分のできることの限界を知ることができました。これは精神的なこと体力的なこと両方で経験できたので、今回知った自分ができる範囲のがんばりで体を崩さずにやっていきたいです。			
インターンシップに参加しての感想など	今回のインターンシップ研修を通して人とコミュニケーションをとるときに大切なこと、そしてその目標ができました。それは相手に興味を持つということです。初対面の人でも身近な人でも相手に興味をもって会話していきたいです。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	NPO 法人西条まちづくり応援団		〔研修担当者:戸田 聖子様〕	
研 修 期 間	2022 年8月23日 ～9月7日 (実働 10日間)	研 修 生	学 籍No.	P019039
			氏 名	藤田涼歌
研 修 内 容	・講座「市民活動ってなに？」に参加 ・夏休み学習サポートのお手伝い ・チラシ作成 ・交流会「大学生に聞いてみよう」開催 ・実業実績、HP、instagram 投稿 ・動画作成 ・オンライン移住相談 ・ファシリテーション講座 参加 ・news 作成 ・全体ミーティング参加 ・移住 内覧			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私にとって働くことは自分の成長が会社の成長にもつながると考えます。また、社会人になるということは責任が生まれ、学生の頃とは違い、一つひとつの仕事に責任が伴うことを改めて実感しました。働く上でのスキルを身に付けることは、会社にとってのメリットだけでなく、自分のスキルアップや成長、達成感に変わることも実感しました。一人で業務を頑張るのではなく、他の人の意見も聞く、時には手伝ってもらうこと、チームワークが社会人になることの重要な1つだと感じました。事務仕事でも、外仕事でも、人と話すこと、相談することは本当に重要だと思いました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	インターンシップ研修では、講座や SNS 発信、動画・チラシ作成、移住のお仕事など様々なことにチャレンジすることができました。高校生との交流会では、自分たちで1から準備をし、どうすれば高校生たちが興味を持ってくれるパワーポイントができるのか、参加しやすい、発言しやすい場の雰囲気づくりを、他のインターンシップ生と話し合い、考えました。また、「相手の立場」に立って考えることの重要性を学びました。人と話す機会が多かったのでどんな場面でも笑顔で、明るく積極的に話しかけました。インターン研修中は、やるべきことが本当にたくさんあり、ギリギリに終わることが多かったのですが、今後の学生生活では、「優先順位」を決めて、物事に取り組みたいです。当たり前のことですが、日ごろから気持ちの良いコミュニケーションと気持ちの良いあいさつを心掛けたいです。			
インターンシップに参加しての感想など	他のインターンシップ生が 3 年生ということもあり、「ちゃんとしなきゃ!」というプレッシャーもありました。いつもとは違う業務を経験させていただき、自分が見えていない部分でたくさんの業務をしていたと改めて気づかされました。楽しいだけが仕事ではないことにも気づきました。仕事をさせていただいて、市民の皆さんの「ありがとう」や「頑張ってるね」という言葉にたくさん支えていただきました。もっと市民の皆さんの活動を応援したいと思いました。チラシ作りは本当に苦戦しました。「楽しそう!」と軽い気持ちで作ってみると、大失敗。「文字の大きさ」「色」「配置」「写真の大きさ、種類」受け取る側の気持ちになって作成する大切さを学びました。この 10 日間、多くのことを学び、吸収し、充実した 10 日間になりました。他のインターンシップ生との絆も深まり、大学生ならではのアイデアも出し合い、このメンバーでインターンシップに参加でき、本当に良かったです。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	道後温泉 ふなや			研修担当者:大内 様]	
研 修 期 間	2022 年 8 月 24 日 ~ 8 月 30 日 (実働 4 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022001	
			氏 名	東 美里	
研 修 内 容	チェックイン、チェックアウトするお客様のお迎え、お見送り、荷物の運搬、消毒、予定表の貼り付け、掃除				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くことは、お客様に喜んでいただくようにおもてなしをするだけでなく、職場の方々とのコミュニケーションをはかり、相手の気持ちを考えて行動、発言することも大切だと感じました。 社会人になるということは思ってもいなかったことがおきてしまっても落ち着いて対処する人のことだと思います。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私はまだアルバイトをしていなかったなので、インターンシップで初めて「働く」ということを経験しました。インターンシップをしていく中で普段から苦手なコミュニケーションを社員の方やお客様とする機会が多くあり、人見知りの私には慣れるのに時間がかかりました。しかし、研修をする前とした後では、少しですが人と会話する能力を成長させることができたと感じました。今回のインターンシップ研修で経験したことを生かして自分の就職先を考えていきたいと思いました。				
インターンシップに参加しての感想など	ふなや様での研修は思っていたよりもお荷物の運搬や長時間立ってのお仕事が多く全身の筋肉を使うので大変でした。お荷物運搬では重い荷物を運ぶだけでなく、お部屋の場所と番号も記憶しなければならないので間違えないように心掛けました。また、社員の方の中にお腹の大きい妊婦さんもいらっしゃり、お荷物運搬の際には重いお荷物は自分が持つように考えて行動することができました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	道後温泉 ふなや			〔研修担当者：石井 様〕	
研 修 期 間	2022 年9月17 日 ～9月25日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022002	
			氏 名	池本 黄菜	
研 修 内 容	1日目、飲料部でお皿の仕分け、皿洗い、皿拭き、テーブルセット。 2日目、御前セット、料理運び、皿洗い、会議に参加。 3日目、お盆拭き、宴会の準備、客室管理。 4～5日目、チェックアウトの方の見送り、荷物運搬、階段の手すりの消毒、展示物の清掃、ランチのお客様のお出迎え、チェックインのお客様の迎え、部屋案内。				
「働くこと」・「社会人になる こと」について学んだこと	私は、社会人になって役に立つ、大切に欠かせない力はロジカルシンキング(論理的思考力)だということを学びました。会議に参加させてもらった際に近年では機械化が進んでおりホテルの予約もネットが主流になり便利な反面、誤った予約も増加しているそうです。このような時に必要になってくるのがロジカルシンキングではないのかと思います。私は社会人になり予期せぬ問題が発生しても素早く問題を整理し、解決を導きだし仕事の効率化を図れるような頼られる存在になりたいという新たな目標が生まれました。また、社会人としてのマナーを学びました。働いている人を見ると、自分のすべての行動に責任をもっているように見えました。これはきっとマナーなはずだけれどもまだ十分に自立できていない私から見るととても荷が重く感じてしまいました。しかし、スタッフの方はそれ以上に仕事を楽しんでいるからできることだと考えると、改めて尊敬しました。私も仕事の大変さに勝ち、楽しめる仕事を見つけないです。				
「今後の学生生活」・「未来の 自分探し」に生かすこと	お客様とかかわるフロントの仕事の際には、質問を受けた際に、うまく受け答えできず、スタッフとおお客様の両方に迷惑をかけてしまったことがありました。その際に、私はコミュニケーション力が低いということに気づきました。未来の自分探しに重要なことは、自分の苦手な部分や弱点を見つけることだと考えているので、実際の職場で業務を体験して、自分の苦手なことをつけることができ、今後コミュニケーション力を向上させることが私の新たな目標になりました。コミュニケーション力を向上させるためには、授業の中で、グループワークや発表の際に、積極的に行動し、自分の言いたいことを言語化していくことが重要だと考えています。また、私は将来接客業につきたいと考えているため接客業に必要なと考えられる話を聞く力も、私の苦手なこととして捉えて、自分の意見を貫き通すばかりではなく、他者の意見もまずは肯定的に受け入れ、自分の中でしっかりと吟味することも心掛けたいです。				
インターンシップに 参加しての感想など	今回の研修を通して、私は、多くのことを学びました。私は、研修に行く前まではホテルスタッフの方は常に背筋を伸ばして、礼儀正しく堅いイメージがありました。しかし、実際には緊張している私に気さくに話しかけてくださり、お客がいない時であるからこそそのスタッフ全体の仲の良さも見られて、驚きました。私は、スタッフの方から職場での仲の良さがお客に対する接客に繋がるというコミュニケーションの大切さを学びました。そして、普段見えないホテルの裏にある人の力について知ることでもできました。研修の中でも特に宿泊部門を担当した際に、さまざまなおもてなしを目と体で感じました。一人一人にあった衣服の用意、愛媛ならではの六タルトのセット、道後アートの壁、今治タオル等々見つけました。思いやりの精神を改めて知れました。実際に体験してからわかる労力、そして仕事の楽しさを味わい今の自分に足りていないのはコミュニケーション力や瞬時にできる対応力ということがわかったので基礎的な知識から身につけたいと思います。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	有限会社ラポール			〔研修担当者: 橘憲一郎様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 22 日 ~ 8 月 26 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022004	
			氏 名	泉谷采実	
研 修 内 容	・痛みのワーク ・店舗実習→開店準備(掃除)、チラシ折り、箱折り、シール貼り、クッキー生地作り、お客様へ挨拶 ・内子合宿→栗農園見学、空き家見学、内子で活動している方のお話、島根県立大学との交流、プレゼン作成、プレゼンテーション				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	責任の大きさが全く違うように感じました。私が研修に参加したラポール様は食品を扱っていたので、より慎重に仕事をしていると近くで見えていて強く思いました。毎日働く中で日々違う状況に対応する力も必要で、とても神経を使うと思いました。また、自分はこの会社の一員なんだという自覚を持ち、この会社をよりよくしようと対策などを考えることが大切だと感じました。行動ひとつひとつに責任を持たなければいけないと思いました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の研修では、人と話したり、質問をしたり、意見を言うという機会を多く作っていただけたので、より頭を使って人と関わることができました。大学生活では、あまり発言ができなかったり、積極的に人と話したりできなかったのも、躊躇せず、思い切って発言していきたいと思いました。また、研修を通して、分からないことをすぐに聞けない、自分から率先して仕事を探せない、社員の方と満足いくコミュニケーションを取れないなど、自分には足りない部分を見つけることができたので、将来働く上で意識することができると思います。そして、今回ホールに立って、お客様と関わり、改めて接客がしたいと強く思ったので、この気持ちを忘れず、就きたい仕事を探したいと思います。自分のことを深く知ることができたので、なるべく生きやすい生活を送りたいと思いました。				
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップに対して、とても難しく、少し怖いという印象がありましたが、今回研修させていただいて、とても良いものだと思えました。他大学と交流できることで、どんな活動をしているのか、就職活動に対してどのような取り組みをしているのかなど、普段では知ることができないことを気軽に聞くことができて良い機会だったと思います。1年生からインターンシップに参加することは、将来について深く考えることができるきっかけになり、とてもいいなと思えました。橘様をはじめ、社員の方々が暖かく迎えてくれて、伸び伸びと活動することができ、感謝でいっぱいです。多くのことを自分の目で見て、現状を自分の耳で聞くことができたことは、今後にとっても大きな影響を与えてくれると思います。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	愛媛トヨタ自動車株式会社 〔研修担当者：和泉智子 様〕				
研 修 期 間	2022 年 9 月 8 日 ~ 9 月 19 日 (実働 10 日間)	研 修 生	学 籍 No.	t022005	
			氏 名	市川 はな	
研 修 内 容	・横田社長との対談 ・大城戸会長との対談 ・越智氏との対談 ・目的目標設定発表会 ・マナー研修 ・店舗実習 ・小学生出張講座 ・職場体験の中学生と交流 ・伝えるスキル聴くスキルワークショップ ・前半活動の振り返り ・プレゼン作成 ・zoom で十日間の振り返り発表会 ・ドリームマップワークショップ(10月16日実施予定)				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	目的と目標をしっかり自分にあつたものを設定し、意識して反省も繰り返しながらの生活を送っていると感じた。目的のためにしっかりと追求している姿を目にしてとても感銘を受けた。それに加えて、コミュニケーション能力と考える力のレベルの高さに驚愕した。働くことが充実しているとこのような人になれるのだと思い、目指そうと思った。常に笑顔を心掛けている様子で、柔軟な考えで常に対応していた。働くことにやりがいを感じるためには自分の考え方と同じような企業を探すことから始まるのだろうと思った。楽しみながら仕事ができるということは、簡単なことではないが、考え方や気持ちで変わってくるのではないかと感じた。愛媛トヨタは楽しそうに仕事をしている人が多いと思った。オンオフを作ることも社会人になるためには必要になってくるひとつの要素だと思う。良好な人間関係を築いていくことも働くためには必要だと感じる。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は、目的と目標のあり方を見直すようになった。今までは目標ばかりに気を取られていたが、一番大切なのは、目的を追求し、目標は目的に沿った上で設定し、達成していくものであると学んだ。コミュニケーション能力は今までも養ってきたものが身についていると思っていたが、まだまだ足りていない部分が見つかった。そこで、コミュニケーション能力には、笑顔が含まれていることに気が付き、これからは意識していき、確実に自分の武器にしていけるようにする。積極性では、他のインターンシップ生から多くの刺激をもらい、自分から動けることの必要性を肌で感じる事ができたので、自分の中でも大きなものになったと思う。刺激と反応の間に考えることを入れ込むことが必要になってくるということを学び、どんなに些細なことでも考えることを日常化していきたい。自分自身について見つめ直す機会となり、私の中での幸せのあり方を意識して過ごしたい。				
参加しての感想など	今回、十日間のインターンシップに参加してみてもう一番に思ったことが、このインターンシップに参加してよかったと思った。初めは、全く思うように行動したり、発言したりすることができなくて、正直不安が大きかった。しかし、次第に会話や発言をすることが増えていき、次の日が楽しみになっていった。今回は、学校用と愛媛トヨタ用とで二つの活動記録を書き、実際の行動や思ったことを自分で書き出して見える化することで今日の反省点や良かった点、明日どのように行動していかなければならないのかが分かりやすかった。そして、最終日に十日間の振り返りをして自分自身の成長へどう繋がったか、これからどうしていくべきなのかが見えてきているので、この養ったことを生かして、次に次へとつ繋げていき自分自身のアピールポイントにしていけるようにしたい。多くのことを学んだ貴重な十日間だった。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社オートクチュール [研修担当者: 安野 雅也様]			
研 修 期 間	2022 年 8 月 17 日 ~ 8 月 30 日 (実働 10日間)	研 修 生	学 籍No.	t022007
			氏 名	上 森 己 晴
研 修 内 容	・企業の仕事内容や説明 ・各チームに分かれての企画書作成 ・イラスト指示書制作			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	インターンシップで「考える」ことがとても大事だと感じた。今までの学校生活でも、考えさせられる機会や自分の意見を発言する機会が何度もあったけれど、社会に出て働く際にとっても重要になってくるのだと改めて感じる事ができた。 じぶんの意見を発表することが苦手で、人に任せてしまうことが多かったけれど、自分で考えて発言することの大切さを知ったので、今後は友達と話するときからも積極的に発言していきたい。 また、人とのコミュニケーションも大事で、他人の意見もしっかりと聞いていきたい。 社会人になるということは、自分にも責任があると自覚して行動しなければならないと思っている。ですから、今後は何事においても、丁寧かつ正確にこなしていくよう意識していきたい。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	このインターンシップ研修で特に感じたのは「考えることの大切さ」である。ゲームの企画書やイラスト指示書を制作する機会が多く、たくさん考える機会が多かった。自分の考えは社会に出てからも必ず求められ、必要にされると思っている。ですから、今後の学生生活では、あらゆる場面において自分の考えを持っておきたい。さらに、なぜそう思うのかという理由も、相手にわかりやすく伝えられるようにしておきたい。今から考える癖をつけておくことで、社会に出たときに自分の考えが浮かびやすくなると思った。 今後の将来を考えると、このインターンシップの経験を生かしていきたい。自分の意見を積極的に発言すること、コミュニケーションをとること、この二つは特に意識していきたい。			
参加しての感想など	グループを作り話し合う機会が多かったので、コミュニケーションをとることは大切だと感じた。よって、仲間と仲良く協力しあえることができ、楽しく仕事ができるように思えた。 ゲーム案を考える際に、「どのようにオリジナリティーを出して、面白くするのか」を特に考えていた。その際、自信がないままながら、自分の考えをなるべく積極的に発言しようと意識した。すると、自分の案が褒められ、採用されることが何度もあったので、案外発言してみるものだった。自信がなく、小さな案だとしても、口にしていこうと自分の考えに自信がつく事につながると感じた。 また、プレゼンの機会に、聞き手から様々な質問や意見を頂いた。そこで、新たな気づきを得たので、人からの意見は大切だと体感することができた。ですから、自分も相手に意見を言うってことも大切だと思った。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	社会医療法人石川記念会 HITO 病院			〔研修担当者：鈴木 将也 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 8 日 ~ 8 月 12 日 (実働 4日間)	研 修 生	学 籍 No.	T022008	
			氏 名	宇都宮南莉	
研 修 内 容	1日目:総務人事広報課 2日目:総務人事広報課 3日目:秘書医療サービス課 4日目:レポート 5日目:医事診療情報課				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	今回インターンシップを体験させていただいて、働くことはとても大変で責任が大きいことを改めて実感しました。自分が一つミスをすることで部署全体そして患者様に迷惑をかけることになったり、余分な手間をかけることにもなるので、作業を行う際はスピードも必要だけれど、丁寧さも求められると感じました。また、仕事を円滑に進めるためには、周りの人との人間関係・コミュニケーションも大切であることを学びました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップでは人とのコミュニケーションがとても重要であることを実感しました。今まであまり得意ではなかったコミュニケーションも今回の研修を通してたくさんの人と関わることで楽しいと思えるようになりました。今後、学生生活や日常生活においても人との関わりをこれまで以上に大切に、就職活動や社会に出たときに生かしていきたいです。 私は医療事務に興味があり体験してみたいという思いが強かったため今回のインターンシップの機会を利用して思い切って挑戦してみました。実際に体験してみると自分のイメージしていた医療事務と違っていたり新たな発見が見つかったりと学ぶことが多く、一歩踏み出してよかったと身に染みて感じました。今回の研修は必ず自分のプラスになっているので、今後自分に興味があることに関して意欲的に取り組み将来の幅を広げていきたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	今回のインターンシップ研修では、学生生活では体験できない貴重な経験ができ実りあるものになりました。参加する前までは、緊張と不安でいっぱいでしたが職員の方みなさんが暖かく歓迎してくださったのですぐに打ち解けることができ、あっという間の一週間でした。この研修期間では、いろいろな場面で社員の方との大きな差を感じ自分の未熟さを痛感することができました。これは、インターンシップを経験していないと分からないことだったので思い切って参加してよかったです。また、興味のある医療事務について実際に現場に立って経験できたり、社員の方のお話が聞けてとても良い勉強になりました。 この一週間で自分に欠けている部分が多々見つかったので、今後の学生生活で少しずつ改善していき社会に出たときに恥をかかないようにしていきたいです。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	エフエム愛媛〔研修担当者： 戸嶋 了一 様〕			
研修期間	2022 年 8 月 22 日 ~ 8 月 26 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学籍No.	T022011
		氏 名	大下 凜々花	
研修内容	会社説明、ラジオ番組制作、編集作業見学、エミフル生放送出演、模擬番組制作。 初日は部署の説明や商品開発の話聞いた。2 日目以降から現場の見学が始まり、1 人 1 つずつ模擬番組を制作する作業をした。最終日にはエミフルに行き、生放送に出演させていただいた。最後に研修生全員の模擬番組を鑑賞し、コメントをいただいた。また、自分たちで作った番組は CD に焼いてもらい、持ち帰った。			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くことは常に誰かと作業することだと思った。1 人だけではできないことだと改めて実感した。そのために、時間を守ったり、協力することが大切だと感じた。また、社会人になることは責任を負うことだと思った。放送事故を起こさぬように、言葉選びを慎重にしたり、誤った情報を流さないようにしていると聞いて、情報を発信する責任は重いと感じた。 また、生放送出演を通して、視聴者とつながる楽しさを学んだ。リアルタイムでお便りを読み、放送している時間の中でコミュニケーションをとるのが新鮮だった。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	原稿を読む体験をさせていただいたとき、社員の方に「声をはっきりしていて聞き取りやすかった」と褒めていただいた。大きな声で、誰が聞いてもわかりやすいように読むことを意識した。自信がついたので、学校で発表をする時などもこのようにすることを続けたい。また、ひとつの企業ではなく、たくさんの企業について知ろうと思った。会社説明会などに早めに参加するようにしたい。			
インターンシップに参加しての感想など	はじめての研修だったのでとても緊張した。しかし、毎日スーツを着て出勤してみても、少しでも社会人に近づいていると感じた。普段関わることのない会社の方や、別の大学の学生と関わることで良かった。就職すると、さまざまな人と人間関係を築くので、学生のうちからもっと人との接し方を考えようと思った。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社八千代				〔研修担当者： 上山結衣花 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 18 日、19 日、31 日(休 み)、9 月 5 日、6 日、7 日(変更日) (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022012		
			氏 名	太田美悠		
研 修 内 容	・講義(経営戦略・ホテル業界について・ブランド戦略・一流のおもてなし・接客心理学・社会に求められる人材) ・マーケティング(マーケティング課の仕事について・ブランディングとマーケティングについて・価格決定について・レベニューマネジメント) ・サービス(お客様案内・お客様の荷物運び・夕食準備・夕食運びなど)					
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私は八千代様の研修を通して働くということは社会に自分の能力を活かして会社に貢献することだと考えました。八千代様で働いていらっしゃる皆様を見て皆様それぞれのお客様に対するおもてなしをされていて自分の能力を最大限に活かして会社に貢献されている姿を見ました。ですので、働くことは社会に自分の能力を活かして会社に貢献することだと思いました。					
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私はこのインターシップの目的が「社会に求められるような人材になること」でした。八千代様の総支配人の菅坂様の講義で「主体性が大切だ」とおっしゃっていました。それを踏まえたインターシップを終え、菅坂様の講義と研修で社会に求められるような人材とは「主体性があり、協調性とお客様に思いやりがある」という人材だということが分かりました。ですので、今後の学校生活で主体性や協調性、相手を思いやる心をより磨いていきたいと思いました。今後の目標にして日々精進を重ねていきたいと思います。					
インターンシップに参加しての感想など	私はこのインターシップに参加してとてもよかったと思いました。インターンシップに参加する前の自分は主体性が少なく、周りに流されることが多かったです。ですが、八千代様の研修を通して身についた主体性のおかげでインターンシップに積極的に参加することができました。インターンシップを終え、主体性が強くなり、それで自分の意見や意志を相手に伝える大切さを知り、周りに流されることが少なくなりました。インターンシップに参加することで自分に足りないところを見つけて強化することができたので大学生活のいい経験になりました。					

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	(株)西城産業情報支援センター			〔研修担当者: 大石忍 様〕	
研 修 期 間	2022 年8月22日 ~8月26日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022014	
			氏 名	沖本ほのか	
研 修 内 容	・企業訪問、各企業PR動画作成 ・ビジネスマナー講座 ・自己分析 ・グループワークによる企業の問題解決 ・模擬面接				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くということに対して、自分の生き甲斐であるとともに社会を支える役割が含まれているということを学んだ。目的として、資金を得るということはあるけれど、それよりもいかに成果を出し、そのために協力し持続することができるかに重きを置いていると思った。 社会人になるということは、学生とは違い、自分自身の行動一つ一つに責任を持つ必要があるということを学んだ。自身が主体となり、自身で決めることがすべてとなる点において、学生とは異なると思った。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の研修で、自己分析を行ったことで視野を広げることができた。新しいことを楽しむのが好きということがわかり、これからの学生生活ではさらに学生会やサークルでの活動に力を入れたいと思う。また、普段の授業でも積極的に取り組み、周りを引っ張っていけるようになりたいと考えた。 自分が社会人になった時、リーダーシップを発揮できるような自分になれるよう、これからも意識していきたいと思った。				
インターンシップに参加しての感想など	研修に参加した9人の中で、一回生は東雲短期大学の3人しかおらず、ほとんどが3回生だったけれど、ニックネームで呼び合うという決まりや、グループに分かれての活動によって、年の差や大学の違いを感じないほど打ち解けることができた。互いに発言する機会がとて多かったため、それぞれの考え方や性格の良さを見出すことができ、多様性を感じた。また、実際の企業の方と行った模擬面接や座談会によって、就職に対する不安を解消することができ、とても充実し、楽しい5日間を過ごせたと思う。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	社会医療法人石川記念会 HITO 病院様			〔研修担当者: 鈴木 将也 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 8 日 ~ 8 月 12 日 (実働 4 日間)	研 修 生	学 籍 No.	T022017	
			氏 名	川野 愛菜	
研 修 内 容	総務・人事・広報課 パソコン入力、資料整理、資格登録 Zoom 会議見学 医事診療情報課 レセプト入力、ワクチン接種の手伝い 医療サービス課 部門カウンターでの総合案内、 【メディカルクラーク】代行入力見学、オンライン面会補助				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くこと、社会人になることについて学んだことは、とても責任のいる仕事ということです。自分の行動ひとつがこの会社や企業の評価になるということ、また、自分の行動に対して自分が責任をおうということを学びました。そのため自分の行動に自信が持てなかったりもしますが、その分頑張って働いて、上手くいった時の嬉しさと、やりがい大きなものだと思いました。これから就職したらそのような場面が増えると思うのでこの経験を活かして頑張りたいと思います。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今後の学生生活・未来の自分探しに生かすことでは、インターンシップを通して実際に働いてみて、自分は医療事務に向いているのかまた、医療事務の中でもどのような仕事が自分に向いているのか知ることが出来ました。今後の社会では、事務職が無くなって行きます。その中で仕事が無くならないようにするためにも、今学んでいるメディカルクラークの資格の勉強を頑張って取り、就職活動などで活かせるように頑張りたいと思います。				
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップに参加しての感想は、まずは、参加して良かったなと思います。働くとはどういうことなのか、また、どんな仕事を行っているのか、全く分からなかった私にはとても大きな学びになりました。実際に働いてみると、自分のイメージしていた事との違いや、新たな発見や学びが多くありました。この学んだ経験を活かせるように、これからの学生生活やアルバイトなどで磨いて行き、就職活動や就職してから活かせるようにしたいと思います。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社セブンスター			〔研修担当者： 野津 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 23 日 ~8 月 27 日 (実働 5日間)	研 修 生	学 籍No.	T022018	
			氏 名	菊地優花	
研 修 内 容	・各部門の作業 ・店舗見学・競合店調査 ・接客について(表情、言葉遣い、接客用語) ・レポート作成 ・若手社員さんと交流 ・段取り作業の体験 ・プレゼンテーション(新商品、気になったもの)				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くことということは、アルバイトとは違って社員としての責任ある行動や自覚が求められると学びました。アルバイトの場合は最終的な責任をとるのは社員ですが、社会人でとして働いている場合は自分のミスは全て自分の責任になります。社会人は仕事に対して大きな責任が求められると思いました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	自分目線ではなく、相手の立場に立って相手目線で物事を考えることが必要だと感じました。このインターンシップで自分の強み弱みを知ることができました。強みはさらに磨いていき、弱みは強みに変えられるように努力が必要だと思いました。今回のインターンシップで学んだことを今後のアルバイトや就職活動に活かしていきたいと思いました。				
インターンシップに参加しての感想など	今回のインターンシップに参加して、他大学の学生と交流などができコミュニケーション能力の向上ができ、グループワークやプレゼンを行い自発的に考える力を持つことができました。初日は緊張もあり自分の意見を言えませんでした。徐々に自分から発表をしたりなど積極性が身に付きました。この経験が無駄にせず今後活かしていきたいです。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	大洲青少年交流の家〔研修担当者：高木啓吾様〕		
研 修 期 間	2022 年 8 月 27 日 ~ 9 月 3 日 (実働 8 日間)	研 修 生	学 籍 No. T022019 氏 名 桐山 愛
研 修 内 容	大洲の豊かな自然の中で、大洲青少年交流の家で行われているプログラムの運営補助やプログラム体験、清掃活動等を行いました。		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	職員様方の仕事に対する態度や向き合い方を、8日間の間至近距離で見聞きすることが多かったのですが、何かしら目標や意識すべきことを設定して、仕事に対し真剣に向き合っている方がほとんどのように感じました。どの職種でもそうでしょうが、これまで自分はあまり明確に目標を設定したり、真面目に努力をしようとしたりすることが苦手で忌避してしまったりと、努力嫌いだったので、実際に現場で働いている方々を見ていると喝を入れられたような気分になりました。社会人になる上、また働く上で、「やりがい」を見つけることが大切であると学ぶことができました。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	この研修期間で経験して学び、体験したことは、まず自分の将来像をより明確・具体的にさせることに活用させたいと思っています。インターン前は全く就活に関心ややる気がなく、そもそも知識も薄かったので何をすればいいのかわからなかったのですが、インターン先で3年次の他大学の先輩方との情報交換もできて、自らの未来のビジョンをもっと明確に立てなければならぬ、と実感しました。		
インターンシップに参加しての感想など	今回の大洲青少年交流の家様で行ったインターンシップ研修は、総評すると、どのような活動も自分の糧となった、楽しくて有意義な8日間だったと思っています。自分も小学生の頃、この大洲で自然の家で過ごしたことがあり、今回体験したカレーや飯盒炊爨も行ったのですが、およそ10年程度経って成人した今再び似たようなことを体験すると、当たり前ではありますが見てくるものが違ったり、「この発言はこのような意味が含まれていたのか！」と新しい気づきが多かったりと、童心に帰ったような懐かしさは勿論ですが、意外な学びがとても多く、その点からも非常に新鮮で楽しい研修でした。 第一希望のインターン先に行けなかったのはかなり残念でしたが、そこでは得られなかったであろう知識、感性があり、結果として研修に参加してよかったな、と心底感じました。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	トヨタカローラ愛媛株式会社			〔研修担当者：森本 崇生 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 19 日 ～ 8 月 25 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022020	
			氏 名	来嶋香津羽	
研 修 内 容	・社内見学 ・業務体験 ・座学 ・グループワーク ・プレゼンテーション				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	学生よりも、大きな責任が求められることがわかりました。 何事にも妥協せず、人のためにも自分のためにも取り組むことだと思いました。 自分の行動や発言に責任を持ち、臨機応変に対応する必要があると感じました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップ研修で、自分の欠点を見つけることができたので、欠点を強みに変えていけるように、意識して行動したいです。 話し合いでは、自分から積極的に発言し始め意見を出すことを心がけようと思いました。 覚悟と責任をもって学生生活を送りたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	不安と緊張で、初めのほうは積極的に話し合いに参加できなかったけど、だんだん積極的に発言することができたので、5 日間の研修期間で少しは、成長できたと思いました。 これからの学生生活でも、もっと成長することができると思うので、インターンシップ研修で学んだことや自分の欠点を意識しながら生活したいです。 仕事は、アルバイトとは違って想像以上に大変なことがわかりました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	ANA クラウンプラザホテル松山			〔研修担当者: 西原 夕起 様〕
研 修 期 間	2022 年 8 月 25 日 ~ 8 月 31 日 (実働 7 日間)	研 修 生	学 籍 No.	T022025
			氏 名	鈴江七恵
研 修 内 容	一日目は、総会でインターン生全員と話し合いをしました。また、7 日間にわたるインターンについての注意事項などを教わりました。また、これからの目標を発表しました。 二日目は、宴会でした。たくさんの指導を教わり、実際にお客様と接し料理の提供をしました。裏ではワインの注ぎ方を学びました。 三日目も宴会でした。二日目とは違い人数が多く大変でしたが焦らず行動できました。 四日目、五日目ではフロントと客室管理をしました。ベットメイキングが大変でしたが、正しい指導の下楽しく作業することができました。			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くことは給料がもらうことだと私は単純に思っていました。 しかし、実際に働いている社員さんと一緒に研修はもらえることは、もちろんですが、お客様目線を考えたり、考社員さんの明るい雰囲気にも次第に心を惹かれていき、目に見えるものが全てではなことに気づかされました。 社会人になることについては、今の大学生活の中で社会に中々できないことをやり遂げていこうと思いました。 例えば、検定試験です。その中でも、日照 PC 検定と簿記検定に力を入れていきたいと思いました。コンピューターはどこでも活用すると聞いたことありますが、ホテル業界でも、その日の日程を作るときに役立っていたので必要なことだと改めて思いました。 また、年齢層も幅広いので年齢関係なく敬語ではじめ接することも大切だと思いました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今後の学生生活では、やはり検定の中にある、日商簿記や日商 PC 検定など社会人になってから取得することが難しくなると思うので後悔しないように努力したいと思いました。 また、ホテルはもちろんのこと、ビジネス現場では、言葉遣いも丁寧語、謙譲語など分ける必要があると思うので、検定の中にもある秘書検定を受けようとも思いました。 未来の自分探しでは、私は友人と話したりすることは好きですが、社会人や新しく出会う人と話すことは緊張するので極力、人とかかわることを避けていましたが、実際にホテルの方やインターンシップの学生と切磋琢磨し働くことでコミュニケーションも上がり楽しくやり遂げることができました。 これからの生活でも、インターンシップで身に着けた知識や行動力を活用していきたいと思いました。			
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップに参加して、今の自分に足りていないことが理解したと思います。インターンシップに参加するまでは、前と後では感じ方も変わったなと思いました。 楽しみでありましたが、実際に社員さんと働くとなるとインターン生ではありますが、お客様からすると社員の一人に見えるので緊張しました。 また、自分の失態で貴社に迷惑が掛からないかなど心配でした。しかし、社員の方は気さくに話しかけていただき優しく解るように教えていただいたのでとても充実し自分の成長につながるのだと思いました。 ANA クラウンプラザホテル松山は、西原さんを始め、宴会、フロント、客室管理の皆様、優しく丁寧に教えていただけたのでとても楽しかったです。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	社会福祉法人石川記念会 HITO 病院			〔研修担当者： 鈴木 将也 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 15 日 ～ 8 月 19 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学籍No.	t022026	
			氏 名	高岡美結	
研 修 内 容	一日目 総務・人事・広報課 二日目 総務・人事・広報課 三日目 購買課 四日目 秘書医療サービス化 五日目 医事診療情報課				
「働くこと」・「社会人」になることについて学んだこと	働くということは、会社が求めている目標や目的、企業理念に沿って自分の能力を生かすことです。会社や部署内の目標を達成するために自分がどのように貢献できるか、自分の能力や得意なことをどのように生かすことができるのかを考え実行することが大切だと学びました。また、社会人になるということは、一人一人が重要な仕事をしていて責任が重いと感じました。一人のミスが周りに影響するので正確にすることはもちろん迅速に作業することはとても難しく大変だということを近くで拝見し改めて実感しました。働くことで誰かの役立つことができることや社会に貢献できることで社会人になることはとても素晴らしいことだと思いました。社会人になるためこれからはもっと自分の行動に責任を持つべきだとも思いました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今じぶんに足りていないスキルはなにかを今回のインターンシップを通して把握することができ、これからは自分のスキル向上を目指していきたいと考えました。今回で周りの状況判断やその場の正確な判断、コミュニケーション能力が自分の中で劣っていると感じました。学校生活でこれらのスキルを伸ばせるように努力したいと思いました。また、資格取得を中心に学校生活頑張っていきたいと思いました。授業や集中講義で松山東雲短期大学は様々な市各種地区にチャレンジすることができるので必要な資格とともに自分の興味の持てる資格などはどんどん積極的に勉強をしていき自分のアピールポイントを増やしていけたらいいなと考えたのでこれから勉学にしっかり励みたいと思いました。				
インターンシップに参加しての感想など	今回のインターンシップを通して、実際に近くで仕事を拝見したり経験させていただいたことで今まで知らなかったことが多くありたくさん気づきを発見することができました。勤務している方々の生の声を聴き勉強になり、新たな学びとともに医療事務の細かい点までも知ることができました。特に気遣い、臨機応変な対応、正確な事務処理能力が大切だと感じました。体の不調や不安を抱えて来院する患者様を少しでも安心させられる思いやりはもちろん安心感を与えられる笑顔、挨拶をし、積極的な声掛けをすることで良い人間関係を作り、ひいては良い信頼関係を構築する事にもつながってくると学びました。また、事務作業は迅速かつ正確な処理能力が必要とされており、ミスがあると手間がかかるだけではなく病院や患者様へ迷惑がかかるので、慎重さや集中力をいらない根気強さも大切だと学びました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社レスパスコーポレーション [研修担当者:西村澄子 様]		
研修期間	2022 年 8月29日 ~ 9月2日 (実働 5日間)	研修生	学 籍No. T022027 氏 名 高橋 雛
研 修 内 容	■ グループワーク ■ 館内・温浴施設見学 ■ 応対研修 ■ 実務研修(リネン・受付業務) ■ 応対研修 ■ レスパシティの施設見学 (あさつゆマルシェ・アートビレッジ・坊ちゃん劇場など) ■ PR 動画作成		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	改めて、学生と社会人の違いを感じました。課題を考えることという事一つにおいても、授業での活動とは違い、考えたことが実際に採用されたり、期間内に考えなければならないという点でも、先生方や、同級生の友達もいない状態での活動の中で自分自身に課された課題に最後まで取り組むこと、改めて報・連・相が大切だと強く感じました。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップ活動を通して、サービス業・宣伝・広告業についての理解を深めることができました。 それぞれ、大変な所や、逆にやりがいとなることの両面を学ぶことができ、私自身の将来に生かせる内容になりました。 また、学生生活では味わうことのできない様々な年齢の人との意見交換の場や、社会人になった際の責任感、緊張感を実際に感じる事ができたのですごくいい経験となりました。今回のインターンシップ研修を通して得たものはこれからの自分自身にとって大きく役立つものになると思うので、意識して伸ばしていきたいです。		
インターンシップに参加しての感想など	私自身の強みや、また同時に弱みも知ることができました。研修内のグループワーク活動で、様々な年齢の方と意見交換をするのはめったにできない経験で、緊張し、あまり意見を積極的に述べる事ができませんでした。ですが、自分の意見をグループ内で述べた際に頷いてくださったのがすごくうれしかったです。また、他の人の意見を聞いていて、自分には思いつかないような考えや、発想を知ることができるという新たな楽しみ方を見つけることができました。 そして、最後の動画作成では、細かいところを最後までグループ内で話し合い、最後までこだわった作品を仕上げる事ができました。このことから、取り組んでいることを最後まであきらめずやり通すことができるという新たな強みを知ることができました。この、強みと弱みを自分でよく知った上で今後の活動に生かしたいと思います。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社トヨタレンタリース西四国〔研修担当者： 新土居健児 様〕			
研 修 期 間	2022 年 9 月 1 日 9 月 6 日 ～9 月 9 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022029
			氏 名	田窪七海
研 修 内 容	座学 空港カウンター業務 受付カウンター業務 洗車・車両点検 営業訪問同行 見積書作成 店舗実習 観光 10 時間コース発表			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くこととは自分が持つ知識やこれまでの経験を活かして他人や目標、目的のために行動することだと考えました。また、社会人になることで今よりも一つ一つの行動、発言に責任感がついてくることだと思いました。責任感があるかないかでその物事に対する考え方や見方が、違ってくということが分かりました。他にもミスを減らすためには他の社員との協力、連携の大切さも学びました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップ研修でパソコンを使った研修内容がいくつかありました。そこで素早く性格にパソコン入力をする事の大切さを学びました。今後の学生生活では、就職した際に Excel や World などを使った作業にスムーズに取り組めるようパソコンスキルを磨いていきたいです。そのために日商 PC 検定に挑戦し合格できるように計画的に勉強していきます。 未来の自分探しでは、自分の長所や強み、身につけているスキルは何か、自分はどんな人間か改めて理解していきたいと思いました。また、いい意味で一癖のある人間になりたいと思いました。 今回のインターンシップ研修を通して、自分に向いている職業や業務内容を知るためには実際に経験していくことの大切さを知ることができました。これからも、いろいろなことに挑戦し、可能性を広げていきたいです。			
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップ研修が始まるまでは迷惑をかけずにちゃんと最後までやり切れるかずっと不安でした。しかし、研修が始まってからは一瞬にしてその不安はなくなり、楽しく様々なことを学びながら取り組むことができました。研修一日目の座学では私なりのやりがいに対する価値観を見つけ出すことができたため、そのほかの研修により熱心に取り組むことができました。また、研修先で一緒になった先輩方の姿を見て私も負けられないと思い店舗実習では積極的にあいさつをするように心がけて取り組みました。 トヨタレンタリース西四国で行った五日間のインターンシップ研修はとても充実した研修であり、自分をもう一度見つめなおすいいきっかけになりました。この経験を今後の生活や就職活動に活かしていきたいです。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	有限会社ラポール			〔研修担当者:橘憲一郎様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 22 日 ~ 8 月 26 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍 No.	T022031	
			氏 名	武智柚葉	
研 修 内 容	・痛みのワーク ・店舗実習→スタンプ押し、リボン貼り、クッキー袋詰め、チラシ貼り ・内子合宿→栗農園見学、空き家見学、内子で活躍している方のお話、島根県立大学との交流、プレゼン作成、発表				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私は、このインターンシップを通して、「働くこと」とは、自ら行動することだと感じました。店舗実習で、働く姿を実際に目で見て、働くことの大変さを実感しました。お客様には、一人一人に自分から声をかけ、最後までとても親切に笑顔で対応されていて、お客様のことを一番に考えていることが改めて分かりました。また、裏では多くの仕事があり、一人一人がてきぱきと行動しているのを見て、自ら行動することが大切だと思いました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回のインターンシップでは、実習だけでなく、Zoom で行った「痛みのワーク」で、自分の弱みを細かく考え、自分自身を見つめなおすことができました。痛みのワークを通して私は、「自分らしく、自分で考えて行動する」という目標ができました。初日に決めたこの研修目標を店舗実習、内子合宿では、自ら行動、発言することを意識し、達成することができたと思います。この目標は、インターンシップだけで終わらせるのではなく、今後の生活でも意識しなければいけないと思いました。学校生活では、プレゼンなどで、自分らしく進んで発表していきたいです。また、これからの自分のため、今興味を持ったことに積極的に取り組んでいこうと思いました。人に流されやすいという性格も「自分らしく、自分で考えて行動する」という目標を活かして、改善していきたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	今回のインターンシップは、自分にとってとても貴重な経験になりました。痛みのワークでは、今まで考えたことのなかった細かいところまで考え、自分を見つめ直すことができ、考え方は一つではないということを学びました。店舗実習では、お客様一人一人に対する接し方が本当に素晴らしく、明るく笑顔の絶えない場所だと感じました。人間関係の良さがより良い職場を作っているということを身に染みて実感しました。また、外からは見えないところで、多くの細かい作業が行われていて、お客様の対応と両立して仕事をされている姿を見て、両立することの大切さも学びました。内子合宿では、地域活性化にとっても力を入れており、自分が思っていたよりも多くの取り組みが行われていて、内子の現状も知ることができ、地域活性化について興味を持って解決策を考えることができました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社西条産業情報支援センター [研修担当者:大石 忍 様]			
研 修 期 間	2022 年8月22日 ~8月26日 (実働5日間)	研 修 生	学 籍No.	T022033
			氏 名	徳永 藍子
研 修 内 容	・西条市についての講話 ・ビジネスマナー講座 ・企業訪問 ・動画編集 ・就活セミナー ・模擬面接 ・グループディスカッション ・企業の方との座談会			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私は研修の中で、研修先の西条産業情報支援センター様・合同会社EIS様と訪問先の9社の企業様と関わらせていただきました。業種も理念も働く方々も多種多様で、それぞれの良さやこだわり等、様々なことを学びました。その中で「働く」ということは、その場に合わせた対応をすることが求められるということを感じました。私は、正しい言葉遣い・きっちりとした服装でいることが社会人だと考えていましたが、「相手から情報(要望)をより多く引き出す為の話し合いで、しっかりし過ぎると相手企業の方も畏まってしまうので、スーツではなく敢えて少しラフな作業服を採用し、親しみやすい話し方をしている」という、私の考えていた「社会人像」は異なったお話をお聞きました。そこから私は、「相手を敬う気持ち」「場に合わせた対応」が重要だと考えました。自身も臨機応変に対応できるように精進していく必要があると痛感しました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は、現代に求められている能力を身に着けたいと考えました。IT 化が進む現代では、パソコン等の情報機器を扱う力・正しい情報を見極める力が必要不可欠です。故に私は、「普段からパソコン使用し、扱えるようにする」「SNS 等で見た情報を鵜呑みにせず、自分で良く調べる」といった目標を立てました。また、真の情報を得るには、聞くだけでなく行動する「百聞は一見に如かず」の精神が大切とお聞きし、講義で学んだことを実際に行動に移すことで身に着けていく必要があると感じました。企業の方に今の職に就いている理由を尋ねると「自分に合っているから」「好きなことを仕事にしたいから」「福利厚生が充実しているから」等、様々な考え方があると知り、「その中で自身が重要視するのは何か」という視点を持ち、仕事に対する視野を広げて考えるようになりました。また、模擬面接では緊張が伝わってくるとのご指摘をいただいたので、慣れる為にも学生会活動やアルバイト等の様々な「人前に立って話す」経験を積みたいと思います。			
インターンシップに参加しての感想など	研修では、自身に不足している力が多数あると日々痛感しました。しかし、一日目では出来なかった事を二日目には改善でき、成長を感じられた五日間でした。具体例を挙げると、模擬面接を三回行い、一回目は内容も薄く、緊張でまともな受け答えもできませんでしたが、三回目には伝えたいことをしっかりと伝えられ、質問に対して自分の考えを返答できました。また、企業訪問の際、一社目では質問できませんでしたが、この失敗から、事前に質問内容を考え、当日話をお聞きしながらも気になったことを書き留める等をし、三社目では質問をすることでより企業様への理解を深めることができました。回数を重ねるたびに前回より良くなっているのを実感し、何事においても経験を積むことの重要性を感じました。様々な経験を積むためにも、常に挑戦し続けたいと思います。今回のインターンシップ研修では、今の自身に出来ること、出来ないことが明確になりました。この経験を活かして、これからも出来ることを増やす行動をしたいと思います。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ホテル椿館〔研修担当者： 三好 卓司 様〕		
研 修 期 間	2022 年 8 月 8 日 ～ 8 月 12 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍 No. T022034
			氏 名 富永 莉乃
研 修 内 容	・お客様をフロントへご案内 ・お帰りのお客様のお迎え ・検温、消毒の呼びかけ ・お子様のお浴衣合わせ ・エレベーターでの誘導 ・浴衣、帯、うちわ、アメニティの補充とチェック ・お部屋まで荷物運び ・卓球場、机、椅子などの消毒 ・フロントでの書類整理		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	初めて実際のお仕事を体験させていただき、仕事の大変さを実感することができました。仕事を通してお客様の喜ぶ姿や自分の長所を活かすことができたときの達成感はとても大きく、やりがいを感じました。常に自分がどう動けばいいかを考えながら臨機応変に動くことができ成長することができました。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の体験より、コミュニケーション能力と協調性を身につけることができました。お客様と関わるにつれて次第にスムーズなコミュニケーションを取ることができました。学生生活でも、コミュニケーション能力と協調性は必須の能力であり、将来就職した際にも役に立つので、普段の生活の中で今回得ることができたこの2つの能力を駆使しながら自分のなりたい職業を見つけていきたいと思います。相手を思いやりながら会話をすることで相手との距離を近づけることができるので挨拶を大切にしながら今後に生かしていきたいと思います。		
インターンシップに参加しての感想など	研修期間の5日間はとても早く過ぎてしまいました。楽しく、やりがいがある業務内容でした。やるべきことがたくさんあったのでひたすら自分のできることを考え、行動していくことで臨機応変にお客様の対応をすることができ、従業員さんの大変さを身にしみて感じるすることができました。私が実際に業務を体験して、足腰が痛く、しんどいと思うときがありました。それをお客さんの前では決して見せず、常に笑顔の従業員さんたちには尊敬する部分が多く、普段お客さんとして見ているだけでは分からない大変さを体験することができ、とても充実した5日間でした。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	社会医療法人石川記念会 HITO 病院〔研修担当者： 鈴木 将也 様〕		
研 修 期 間	2022 年 8月8日 ~8月12日 (実働 4 日間)	研 修 生	学 籍No. T022035
		氏 名	永井 麻夕夏
研 修 内 容	秘書・医療サービス課では、オンライン面会という患者さんご家族の方たちが実際にタブレットを使用して画面上でお話をするツールのこと。また、直接 患者さんの体温や(自動)血圧計の案内や患者さんにご家族の方にお渡しする荷物の受け取りと署名。 総務・人事・人事・広報課では、キャッチフレーズを、考えたり従業員リストの管理など。 医療診療情報課では、主に患者さんの病名や手術名を見極めて入力すること。		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	インターンシップ研修を通じて、実際に働くこととアルバイトをする感覚は少し責任の重みが違うように感じました。なぜなら、お仕事は自分のミスや仕事の成果で評価されたり、多くの人の生活がかかっているから。アルバイトでは、任される仕事の量が格段にちがいに少し気楽に、与えられた仕事をこなすのみだから。社会人になるということは、自分の意見をきちんと伝え、相手の意見もきちんと聞き、自分と相手の立場を理解すること。そして、社会のルールだけでなく、人と人との繋がりを大切にすることを改めて、学びました。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今後の学生生活では、医療事務になるためにスキルアップに努めたいと思います。そのために、日頃からタイピング練習を積み重ねて、素早く入力していけるように有意義に学生生活を過ごしていきたいです。なぜなら、医療事務は事務職のためパソコンが必要不可欠かつタイピング入力が早ければ早いほど素晴らしい人材として、評価されると感じました。具体的に、ただタイピングが速いだけでなく、相手の意見を尊重してコミュニケーション能力を高めていきたいです。このような過ごし方が、未来の自分探しに、職業選択で悩んだ際にパソコンというスキルが身につけていけば社会人として全く違う職種で働くことになったとしても、自分自身の強い武器役として、役立つと思ったからです。		
インターンシップに参加しての感想など	私は、インターンシップ研修を通してコロナ過ということもあり実施状況がとても心配されていましたが、無事に実施できたことに感謝しています。インターンシップ研修に参加して、たくさんの患者さんや従業員さんたちから刺激をもらったような気持ちでした。特に、印象的だったのは、オンライン面会という面会があり、患者さんご家族の方たちが直接は対面できないですが、タブレットという新しい形でコミュニケーションをしている姿をみていて、普段何気なくしている家族との会話は当たり前だと思っていることが患者さんご家族の方たちからすると、当たり前が出来事ではないと知り、改めて人の痛みを実感できる良い経験となりました。病院で働くことでより人のありがたみに感謝できる素敵な学びになる良い機会だと思いました。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	有限会社 ラポール			〔研修担当者：橘憲一郎 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 8 日 ~ 8 月 20 日 (実働 10 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022036	
			氏 名	永井鈴菜	
研 修 内 容	・エゴグラムの作成 ・店長会の見学 ・店舗で実際に働く ・就労支援事業の学習 ・ツツミでパイづくり				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	学校では、ほとんどが自分一人で解決できることですが、仕事をするうえでは、周りを確認して行動することが大切だと研修で学びました。そのためには、今、自分がしなければならないことを常に考えて行動できるようにするべきだと考えます。また、自分のことしか考えずに行動してしまうと、他の従業員の方だけでなく、お客様にも迷惑がかかってしまうことにも気がつくことができました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	インターンシップ研修を受けるまで、自分の性質について詳しく考えたことがなかったけれど、研修ではエゴグラムやドライバー・チェック・リストを通して自分の性質を知り、目標を立てることができました。研修中の目標は「自分から積極的に行動する」とこと、「傾聴力を生かしてお客様や社員の方に話をする」とことで、積極的に行動することはできましたが自分からお客様や社員の方に声をかけることはできなかったように感じます。この目標は引き続き実践していき、これからは自分自身のことだけで精一杯にならないよう周りを見て行動することと、周りからの評価を気にしすぎず、自分を客観視できるようにしていきたいです。そして学生生活でも研修で立てた目標を実践できるように、自分を客観視していき、成長していきたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップ研修を受ける前は、上級生との関わりが少なく、研修先にも上級生しかいなかったのととても不安でしたが、自分にはなかった考え方を取り入れることができ、とても勉強になりました。また、アルバイトもしたことがなかったので、挨拶の大切さやお客様・社員の方々に対する心づかいの大切さも知ることができました。ツツミ店では、就労支援事業に取り組んでおり、障がい者の方々が働きやすいように工夫されていました。私は、福祉に興味があったため、就労支援事業の取り組みについて学べてよかったです。今回、インターンシップ研修に参加して、自分を成長させることができ、本当に良かったですと思います。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社 西条産業情報支援センター			〔研修担当者：大石 忍 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8月22日 ~ 8月26日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	t022038	
			氏 名	中尾心晴	
研 修 内 容	・西条市の企業の短期インターンシップ ・PR 動画の作成 ・就活に向けての自己分析や自己 PR の書き方 ・企業の方々との交流会、座談会 ・西条市の企業について知るとともに自分のことをよく知る				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くということは、自分のことだけでなく相手のことを考えて行動するということがわかりました。5日間の中で3つの企業を訪問し、9つの企業の話を書きましたが、取引をする取引先の企業であったり、商品を提供するお客様であったり、形は様々ですがどの企業にも必ず「相手」がいます。相手の狙いや客層など、よく観察し、相手のことを思って経営設計や戦略を立てていたのでこれが大切なことだと思いました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私が今後の学生生活で生かしたいことは2つあります。1つ目は、様々な業界を知り、多くの企業を知るということで将来の選択肢を広げるということです。今まで、気になる職業を調べるときは自分の知っている知識の中から企業を探していましたが、今回のインターンシップで9つの企業を知ったことで業界の幅が広がり将来の選択肢を広げることができました。また、3つの企業を訪問したことで私の知らない業界を実際に見て感じることもできました。2つ目は、自己分析を通して自分の長所や得意なことにより自信を持てたことです。今回行った自己分析では、自分で分析するだけではなく他人からの意見もらうことができ、意識せずに自然にできていたことにも気づけました。自己分析の一つの方法として価値観を使ったカードゲームをしたり、企業の方々と相手に模擬面接を行い、フィードバックを通して気づけたことなど履歴書や自己PRに書くときに生かしたいと思いました。				
インターンシップに参加しての感想など	正直、家から遠く離れている西条市に5日泊まりというのは、最初はとても不安でした。でも同時に、私にとって大きな挑戦でした。インターンシップの受け入れを初めてくださった西条産業情報支援センターの方々他とは少し形の違った研修内容を計画してくれたおかげで、私自身成長したなと感じる部分があり、たくさんの気づきを得ることができました。PR動画の作成や企業の方々との交流会や模擬面接など、あまり経験することのできない貴重な時間を過ごすことができました。また、5日間を共に乗り越えた8人の方々とも日に日に距離が縮まっていくことを感じることもでき、他校で他学年の方々と関わりが増えて嬉しく思います。本当に楽しく充実した時間を過ごすことができました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ホテル椿館			〔研修担当者:三好 卓次 (飯塚 剛) 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 8 日 ~ 8 月 12 日 (実働 5日間)	研 修 生	学 籍No.	T022039	
			氏 名	中塚 彩紀	
研 修 内 容	・道後や、宿泊業界に関する講演会 ・玄関、ロビー接客業務 ・お客様の案内 ・検温、消毒 ・お子様の浴衣合わせ ・アメニティ等の補充 ・お客様の荷物運び ・消毒(卓球場、机等) ・フロント業務等の手伝い ・翌日の予約の書類整理 ・道後マップの準備				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	責任をもって、最後まできちんと仕事を行うことの大切さを改めて感じました。フロントへお客様を案内する際、フロントの方との連携がうまくとれておらず、スムーズに手続きを行えないということがありました。働くということは、自分自身で責任をもって最後まで成し遂げなければならないという場面が増えます。そのため、細かく確認を行い、ミスのないようにしなければならなかったと感じました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は、株式会社ホテル椿館での研修を通して、しっかりと周りを見て、細かいことから情報を得るということの大切さを感じました。細かな気配りや、思いやりの心を実行に移すには、まず気付く、ということが重要です。その力は、どのような仕事を行う上でも必要で、今後さらに身に付けていくべきものであると感じました。学生生活や、アルバイトを通して、自分がすべきことは何か、困っている人がいないかなど、しっかりと周りを見て行動するようにしたいと思います。 また、研修を通して、人と直接関わる仕事の魅力や楽しさを感じることができ、私も将来、人と関わり、人を笑顔にできる仕事をしたいと思いました。				
インターンシップに参加しての感想など	研修初日は、緊張もあり、積極的に動くことができませんでしたが、回数を重ねるごとに、仕事をとても楽しいと感じるようになりました。お客様とコミュニケーションをとる際に笑顔を意識したり、自分からお客様に話しかけたりと、様々なことができるようになりました。研修では、主に玄関・ロビーでの接客業務を行い、真心と思いやりの気持ちを持ってお客様と接することの大切さを学びました。お客様に「ありがとう」と言っていたく場面も多く、人の役に立っているということを感じることができました。私は新しいことにチャレンジすることが苦手でしたが、今回の研修では様々な業務を任せいただき、初めてのことに多くチャレンジすることができました。非常に学ぶことも多く、自分を成長させることのできた研修でした。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	愛媛トヨタ自動車株式会社			〔研修担当者:様〕	
研 修 期 間	2022 年 9 月 8 日 ~ 9 月 19 日 (実働 10日間)	研 修 生	学 籍No.	T022042	
			氏 名	西田朱里	
研 修 内 容	・社長、会長との対話 ・店舗実習 ・小学生向け出張講座 ・発表会				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	研修に行く前、私は仕事が大変でしんどいというイメージしかありませんでしたが、それだけではなくやりがいや達成感を感じられるものだということが出来ました。それが「働くこと」ではないかと考えます。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は元々発表することに対して消極的な性格でしたが、今回のインターンシップを通して年上の方々から刺激をもらい、少しではありますが積極的に発言することが出来たと感じています。この得た積極性を活かし、就職活動などに活かしていけたらいいなと思います。 また、プロの方の接客を近くで見ることができ、声の出し方やお客様への言葉使いなどたくさんのことを学びました。私は将来接客業をしたいと思っているので今回学んだことを忘れず、仕事に活かしたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	私は今回初めてのインターンシップで最初は緊張していたし、年上の方しかいなかったのについていけるのかとても不安でした。しかし、日が経つごとに打ち解けることができ、同じ目標をもち協力することの大切さや「仲間」の大切さを実感することが出来ました。 最初の説明の際、愛媛トヨタ自動車株式会社が「成長するスタートライン」に立ってもらいたい」と仰っていたのですが、今回の経験で大きく成長出来たと実感しています。これからの就職活動や学校生活、普段の生活に役立てていきます。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社 ありがとうサービス			〔研修担当者:日高様 中島様〕	
研 修 期 間	2022 年 8月24日～8月28日 (実働 5日間)	研 修 生	学 籍No.	T022044	
			氏 名	二宮 小春	
研 修 内 容	1 日目 自己紹介、会社説明、自己分析、目標設定、オリエンテーション、グループワーク 2 日目 旧ミツバチ物件、亀老山展望台、道の駅よしうみいきいき館、来島海峡サービスエリア の観光、グループワーク 3 日目 グループワーク、中間発表 4 日目 グループワーク 5 日目 最終発表、～未来を描こう～ビジュアライズ、5 日間の振り返り				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私が考える働くこと、社会人になるということは、相手が求めているものに対してどのようにすれば自分が貢献できるのかを考えて、実行することが大切なのではないかと考えます。そして、自分の責任で物事を進めないといけなくなるのでよりいっそう責任感が強くなるものではないかと思います。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回、ありがとうサービス様での研修を通して、自分の長所や短所を改めて知ることができました。私は、まだこの仕事をしたいというものが見つかっていないので、これから自分の長所を生かせるような仕事を見つけ、そしてこれから自分がどのような人になりたいかということもしっかり考えていきたいです。私は、緊張しいで、人見知りなため、自分から話しかけることが得意ではありません。そのため残りの学生生活では、何事も自分から積極的に行動できるようになりたいです。そして、友人とは、コミュニケーションをしっかりととり、有意義な生活を送りたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	この5日間で、たくさんのことを学ぶことができました。グループの人からアイデア力がある、広い視野で、少し違った角度から物事を考えることができる場所が強みだと言われ、自分が今まで知らなかった強みを知ることができました。そしてインターンシップ研修に参加する前に立てたコミュニケーション能力の向上と社会人としてのマナーを身につけるという 2 つの目標も少しは達成できたのではないかと思います。このインターンシップ研修を通して、自分から意見を出す大切さや、コミュニケーションをとる大切さなどを改めて学び、自分自身も成長することができました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社セブンスター			〔研修担当者:野津裕志 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 23 日 ~ 8 月 27 日 (実働 5日間)	研 修 生	学 籍No.	T022045	
			氏 名	沼田久留実	
研 修 内 容	店舗:体験、見学、グループワーク、競合店調査 オンライン:プレゼンテーション、質問会、仕事についての説明				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	働くことは生活するためでなく生きていく上でやりがいとなることだと感じました。働くことで誰かの支えになり、それがやりがいとなっていると考えました。社会人になるということは責任が増えることだと考えます。社会の一員として任せられることも増え、働きだせばたくさんの人が関わってくるためそう考えました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の研修では、コミュニケーションや挨拶の大切さについて学ぶことができました。今後の学生生活では、指摘された声の大きさや目線を意識していきたいです。相手に伝わるようにという気持ちを心掛けて、目を見すぎないようにしたいです。未来の自分探しについては、何のために働くのか、どのような暮らしをしたいのか、実際の仕事内容や雰囲気はどうかなどを考えながら探していきたいです。研修では、情報を集めること、気づくことが大切だと教わったため、仕事に関する情報を求人やインターネットを使って集めていきたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	研修に参加して、学びたいことの一つであったコミュニケーションについて詳しく知ることができました。そして、私の課題は伝える力と読み解く力だと感じました。話し合いやプレゼンテーションをする際、自身でも何を言っているにわからないときがありました。相手にも伝わっていなかったため、改善に向けて頑張ります。声の大きさや表情にも気を付けていきたいです。そして、スーパーマーケットの仕事について学び、人の生活の支えになる仕事だということが分かりました。ただ物を売るだけの仕事ではなく物を売ること生活の支えになり、人の役に立つことができるのがこの仕事の魅力だと感じました。将来の仕事の一つとして考えたいと思いました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	特定非営利活動法人ぶうしすてむ [研修担当者: 手銭ひとみ 様]			
研 修 期 間	2022 年 8 月 17 日 ~ 8 月 23 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022046
			氏 名	野井梨央
研 修 内 容	● zoom でのオンライン研修(就労支援講座) ● 介護福祉制度、意思伝達装置についての説明 ● 在宅利用者との交流会 ● 画像加工の体験 ● 3Dモデル体験 ● 愛媛県身体障がい福祉センター、ICTサポートセンターの見学			
「働くこと」・「社会人になる こと」について学んだこと	仕事をするうえでの対人関係は避けられないので、たわいのない雑談からでもコミュニケーションをして、信頼関係を築いていくことの大切さを学びました。 また、仕事には期限や納期などの締め切りを守らないといけいないので、自分でできないことがある場合は、迷う時間を作るよりも、職場の仲間や上司に相談することが大事だと学びました。			
「今後の学生生活」・「未来の 自分探し」に生かすこと	わたしは人と話すことや頼ることが苦手で、必要最低限の会話で済ませることが多く、自分のことを話す機会がありません。しかし、就職活動をするにおいて自分について話さなければならない時や行き詰った時に誰かを頼っていかなければならなくなるので、今のうちから、わからないことはすぐに質問するなど、行動を起こしていきたいと思います。			
インターンシップに 参加しての感想など	ぶうしすてむ様の職場は、仕事と休憩の切り替えがしっかりしており、休憩の際は普通の何気ない会話をしたり、趣味に打ち込んだりと学生生活の時とあまり変化を感じなかったのも、とても居心地が良かったです。 また、障がいを持っているというだけで、健常者とはほぼ変わらないような方々が多く、独断と偏見で相手のことを考えてはいけないと改めて感じました。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	愛媛医療生活協同組合〔研修担当者:神野 美奈子様〕			
研 修 期 間	2022 年 8 月 25 日～9 月 1 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍 No.	t022049
			氏 名	古田奈央子
研 修 内 容	①医療生協の概要説明 ②不用品交換市の見学 ③弁同づくりのボランティアさんのお話を聞く ④グループワーク ⑤インターンシップでの成果発表			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	話を聞く時間を設けていただき、実際に働いている人の話を直接聞くことができた。自分が「働く」ことに対して抱いていた不安は、他の人も感じていたことを知ることが出来たため、不安が軽減されたように思う。そして、話の中で出てきた「自分の軸をもつこと」は社会人になる上で大切なことであると感じた。 インターンシップでは、グループワークが多くあった。そして、話し合うことを重ねていくことで様々な意見がでるようになった。このことから、話し合いがしやすい環境づくり・話し合いがスムーズに進むように広い視野を持つことの重要性を学ぶことが出来た。 また、働くことには責任感が必要であることが、インターンシップを通して、具体的にわかるようになった。自分が働く際は、責任感を持って、視野を広く持ち働きたいと感じた。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	当たり前に行う「あいさつ」や、「相槌」、「お礼」の必要性がわかった。そのため、そういった当たり前のことを今後学校生活だけでなく、日常生活や、働いていくときも徹底しておこなっていききたい。 インターンシップでの面接や、働くうえでの大切なこと、業界への理解など様々なことを学ぶことが出来た。これらは、今後の就職活動で非常に参考になると感じた。 また、よく詳しく物事を理解することの必要性を、インターンシップで感じたため、就職活動の際も、企業について深く理解して取り組んでいきたいと思う。			
インターンシップに参加しての感想など	充実した 5 日間であり、インターンシップに参加してよかったと非常に思う。アルバイトだけではわからない「働く」ことの大変さ、やりがいなどがよくわかった。 組合員さんの楽しそうな姿が、医療生協の職員さんのやりがいとなっているのが非常に伝わってきた。そうした、関係性がとても素晴らしいものだと感じた。 また、インターンシップでたてていた目標が達成できたこととともに、自分の課題を見つけることが出来た。 5 日間、様々なことがあったが担当者の神野さんが非常にサポートしてくださり、感謝の気持ちが大きい。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ありがとうサービス 〔研修担当者:日高様 中島様〕			
研 修 期 間	2022 年 8 月 24 日 ~ 8 月 28 日 (実働 5日間)	研 修 生	学 籍 No.	T022051
			氏 名	松尾有紗
研 修 内 容	1日目 * オンライン 自己紹介、会社説明、質疑応答、自己分析、目標設定、地方創生事業について、課題解決テーマ発表、グループワーク、反省 2日目 * 対面 旧みつばち物件見学、亀老山展望公園訪問、道の駅ようみいきいき館訪問、来島海峡サービスエリア訪問、グループワーク、反省 3日目 * オンライン 昨日の反省、本日の目標、グループワーク、進捗確認、発表準備、反省 4日目 * 対面 初日に設定した目標を全体で発表、グループワーク、進捗確認、反省 5日目 * 対面 準備、プレゼン、感想、ビジュアライズ、発表、5日間の研修発表、ありがとうのカード、担当者の方からのお話			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私は研修を終えて、「働くこと」「社会人になるということ」は人のために考えて、自分を成長させることだと考えました。 研修初日に自分の目標とグループの目標を設定しました。 しかし、研修では目標を達成するだけではなく、課題を解決する中で“どうしたらお客様が来てくれるのか”など人のために考えること、それが難しいということを実感しました。 社会人になるということは、自己成長も含めて人のために考えて行動することだと考えました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は今回の研修でリアクションの重要性について学びました。 初日、3日目ではオンラインで開催され、学校でするグループワークよりも緊張して表情が固くなり、空気がピリピリした印象でした。しかし、初日での反省を改善するために2日目からグループワークや人が前に出て話しているときは頷きやメモをとるなど話の聞き方、リアクションの仕方を工夫しました。担当者の方にも努力が伝わったと言って頂きました。人前で発表する機会が多く、自分が発表する側になってみると相手の表情やリアクションで場の雰囲気が変わることがわかりました。今後の学生生活では、人が前に出て話しているときは研修で得たことを生かしてリアクションに意識したいと考えています。また、授業でグループワークをする機会が多く、人前で話すことは緊張することですが、5日間で得た貴重な経験を今後も生かしたいと考えています。			
インターンシップに参加しての感想など	私はインターンシップ研修に参加して、自分の新たな課題を発見できたと思います。 研修の目標ではコミュニケーション能力の向上として、グループワークでは積極的に参加することでした。また、新たな課題を見つけることも目標の一つでした。 グループワークに参加していく中で自分の新たな気づきがあります。 話し合いには参加できているものの自分の考えていることを言語化することが苦手で上手く伝えられずメンバーに迷惑をかけたと思います。課題を解決するためには、人と話すときに整理して話すことを心掛けたいと思います。 5日間というとても短く貴重な濃い経験をし、今後も向上心を忘れず何事にも積極的に行動できる人になりたいと思いました。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	伊予市役所			〔研修担当者： 丹生谷夏目 様〕	
研 修 期 間	2022 年 8 月 8 日 ~ 8 月 15 日 (実働 5日間)	研 修 生	学 籍No.	T022054	
			氏 名	向井颯月	
研 修 内 容	各場所への取材、Facebook 作成、パソコン作業、水道等の点検、備品チェック、伊予市長様との協議の見学				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	5日間という期間でしたが働くことの大変さを感じることが出来ました。実際に働いている方たちの姿を見て、一つ一つの行動に責任をもって取り組み、お互いに支えあいながら仕事をしている姿にとっても憧れをもつようになり、私も将来は周りの人と協力し、切り替えがしっかりとできる社会人になりたいと思いました。就職をするまでに当たり前にはできないといけなかったことや、基本的な社会人のマナー等身に着け、働き始めたときに困らない環境を少しでも作っておきたいと思いました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今、基本的にしておかないといけないことなどを疎かにしてしまっている為、インターンシップを通して学んだことをいま一度思い出し、卒業までの間有意義な学生生活を送れるようにしたいです。また、来年の就職活動に向けて情報収集やインターンシップで学んだことを振り返り、今から積極的に将来に向けて頑張っていきたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップ期間中は大変なこともありましたが、5日間を通して様々なことを学ぶことが出来ました。初めてのインターンシップだったこともあり失敗してしまうことも多々ありましたが、実際に働いている方々には沢山のことを学ばせてもらいとても貴重な経験を行うことが出来ました。最後は、提出物を疎かにするなど周りの方々に迷惑をかけてしまいましたが、いま一度授業で教えて頂いたことやインターンシップで学んだことを思い出し、自分自身が後悔しないように学生生活を送っていきたいです。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ホテル八千代 〔研修担当者： 上山 結衣花 様〕		
研 修 期 間	2022 年 8月18 日 ～ 8 月 24日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No. T022056
			氏 名 山本 千智
研 修 内 容	1日目…菅坂様による講義 2日目…菅坂様による講義() 3日目…接客 OJT(着物着用) 4日目…マーケティング部について(八千代様の魅力) 5日目…接客 OJT(スーツ着用フロント)		
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	インターンシップに参加する前の自分の意識として働くこととは、淡々と任されたお仕事をやりこなしお客様の要望を叶えるという印象でした。ところが実際にインターシップに参加させて頂いたところそれだけでなく、八千代様では積極的なおもてなしを重要視していることを学びました。特にサービスとおもてなしは違うというお言葉がすごく響きました。ですから私が社会人として働く立場になった際は、学んだことを生かしてお客様、消費者に任された仕事をやりこなすだけでなく就職先の目指している目標を理解するとともに自分自身からお客様、消費者の方に寄り添えるような人間に成長したいと感じました。		
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	生かしたいことは、固定概念にとらわれず自分探しを積極的に行うことです。八千代様から固定概念に捉われないというお言葉をお聞きし、この言葉を大切にしたいと感じました。また、趣味を仕事にするという考えをもとに就職活動をしていきたいです。趣味を仕事にすることは難しいかもしれませんが、自身の強みを生かしていけるような、また強みを成長させるような学生生活を送りたいと感じました。		
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップに参加する以前は、参加して何かが変わるのか、という印象が強かったです。しかし、参加させていただいたところ、多くのことを学べたとともに、就活活動に対しての印象も変わりました。インターンシップに参加し、自己分析を深めることが出来たので、これから様々なところに生かしていきたいと感じました。今回の貴重な体験をさらに自分の将来につなげたいと感じます。今回の学んだことをインターシップⅡの活動へと繋げていきたいです。		

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ホテル椿館			〔研修担当者： 三好 卓次 様〕
研 修 期 間	2022 年 8月18日 ～ 8月 22日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	T022057
			氏 名	横井 梨央
研 修 内 容	着付け 館内施設の見学 玄関、ロビーでの接客案内 消毒、検温の呼びかけ お部屋までのお荷物運び エレベーターでの誘導 お子様の浴衣合わせ 道後の歴史についてのお話			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	研修を終え、「働くこと」「社会人になるということ」に対する意識が変わりました。「働くこと」は新しい自分を発見でき、自分を成長させてくれることだと考えました。それだけでなく、自分を中心に考えず、周りを見ながら行動することが大切だと思いました。「社会人になるということ」は、一つ一つの行動、言葉に責任を持つことです。今までは失敗しても許される部分が少なからずあったが、社会人は大きなミスは絶対に許されないし、会社全体のイメージを下げることになるため、ちょっとした行動も、言葉遣いも心がけることが大切だと思いました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今回の研修を通して、積極的に行動すること、コミュニケーションが大切だということ学びました。私はもともとこの2つのことが得意ではないので、5日間を通して自分の中では成長できたと思っています。研修で身につけたことを、これからの生活に活かしていきたいです。もっと積極的に行動し、様々な人とコミュニケーションを取り、さらに成長できるように努力したいです。私は将来の夢が決まっていますが、焦らずに自分がしたいこと、好きなことを見つけていきます。周りの人に評価されないと気づかず、自己分析が自分で全然できないので、逃げるのではなく自分としっかり向き合い、何が得意なのか、何がやりたいのか、じっくり考えて未来の自分を探していきたいと思っています。			
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップに参加するのに、すごく不安がありました。私は将来の夢が決まっていないため、なんとなくやってみようというところから始めました。しかし、明確にこれがやりたいといったことがないため、社会人になるということから目を背けていた自分がいて、なかなかイメージができていませんでした。そのため、研修中に、積極的に行動できなかったりお客様と上手にコミュニケーションを取ることができなかったり、うまくいかないことも多くありました。社員の方々のお客様に対する接客を見て学び、少しずつスムーズに接客できるようになり、お客様からのありがとうという言葉をいただいたときは嬉しくもあり、やりがいを感じました。5日間無事に研修を終え、自分は変わったのか、最初、自分では気づくことができませんでした。しかし、研修が終わったあとに、変わったねと言ってもらえて、そこでようやく気づきました。5日間しかなかったけど、自分は成長できたんだ、変わったんだと思い、自分の目標を達成することができました。自分では気づかなかったけど、周りの人から見て変わったと思うぐらい自分は成長できたんだと思い、すごく貴重な5日間だったと思います。社会人になるための一歩を踏み出せた気がします。5日間で学んだことを今後の生活に活かしていきたいです。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	トヨタカローラ愛媛株式会社			〔研修担当者: 森本崇生様〕	
研 修 期 間	2022 年8月19日 ~8月29日 (実働5日間)	研 修 生	学 籍No.	t022058	
			氏 名	横山生芽	
研 修 内 容	オリエンテーション、自動車業界研究、ビジネスマナー、会社見学、発表				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私は「働くこと」、「社会人になるということ」とは、自立し、周りの人と協力していくことだと考えます。自分の1日のスケジュールは自分できめ、自分で管理していくことが大切だとわかりました。また、自分1人では「仕事」というのは成り立ちません。周りの社員さん同士で協力し、助け合いながら働いているから、1日の「仕事」が成り立っていると感じました。学生とは大きく違うところがたくさんあると思いました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は今回のインターンシップで、今自分に足りていないと感じたことがたくさんありました。1つ目は、ビジネスマナーです。まだまだ知らないマナーや、実践できていないことがあったので勉強していきます。2つ目は、話す力です。お客様と接するためには、話す力が必要です。今の私には話す力が足りていません。なので学生生活のうちに話す力をつけたいと思います。グループ活動の中でたくさん発言したいと思います。3つ目は、聴く力です。仕事をするうえで1番大切な聴く力はさまざまな場面で力をつけることができます。たくさんの人と接し、話す力、聴く力をつけていきたいです。インターンシップで学んだことを今後の生活に生かしていきます。				
インターンシップに参加しての感想など	今回のインターンシップを通して、ビジネスマナーやその仕事についての理解が足りないなと感じました。学校で習ったビジネスマナーは理解できていましたが、まだ知らないビジネスマナーや、知っていても実践できていなかったです。また、アテンダントの仕事内容はあらかじめ勉強していたのですが、まだまだ知識不足だなと感じました。カーライフパートナーやアテンダントの仕事を見学したときに、自分が想像していた以上に忙しそうでした。常に動いていたり、常に周囲を見ていました。1つ1つの仕事を丁寧に早くこなしていました。私もそうできるようになりたいと思いました。グループワークがたくさんありました。最初はなかなか発言できなかったけれど、だんだん自分の意見を発言できるようになりました。				

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	株式会社ありがとうサービス様[研修担当者:日高朝美様]			
研修期間	2022 年8月24日～8月28日 (実働5日間)	研修生	学 籍No.	T022059
			氏 名	横山緒咲
研 修 内 容	1日目は、Zoom で自己紹介、会社説明、自己分析、目標設定に取り組みました。2日目は、今治市内でフィールドワークを行いました。グループでのプレゼンテーションの課題となった空き家(旧ミツバチ物件)、亀老山展望台、道の駅ようみいきいき館、来島海峡サービスエリアの4つに行きました。3・4日目は最終発表に向けて、Zoom と対面でグループワークを行い、最終日は最終発表の課題となっていた空き家の活用方法をそれぞれグループごとにパワーポイントを使って発表しました。また、未来を描こうというテーマでビジュアライズを作成して発表し、最後に5日間の振り返りを行いました。			
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	私が働くことについて学んだことは周りとの関わり(人間関係)をよくすること、積極的にコミュニケーションを取ったり、話し合いに参加したりすることだと考えました。私自身、消極的で自分から話しかけるということがとても苦手でした。ですが、大学に入学しアルバイトを経験することで徐々にバイトの先輩・お客さんとのコミュニケーションがうまくとれるようになりました。また、今回のインターンシップはグループで唯一、一年生が私一人という中で、最初は遠慮しましたが、2・3日目では積極的に話し合いに参加し、意見を多く言えるようになりました。コミュニケーションを取ることは仕事をする中で最も必要だと思います。インターンシップ中も「お元気様です」という企業のあいさつを大事にしていました。仕事をする中で、自分の能力を活かしたり、目標を立てたりすることももちろん大切なことですがその中に相手の意見を取り入れることで相互理解を深められると考えました。			
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は今後の学生生活で協調性やリアクションを大切にしたいと思います。今回のインターンシップでは、前で一人ずつ発表する機会が多くありました。普段前に出たり、みんなの前で発表をしたりするという機会がなかったためとても貴重な経験となりました。やはりまだ緊張する部分はありますが、今回もインターンシップでしたことを活かすために授業でグループワークがあった際にはリーダーとなってまとめたり、意見を積極的に言ったりしたいです。また、リアクションを大切にしたい理由としては、Zoom で意見を言った際、反応が薄かったり、無表情だったりするとその人が不安になったりうまくコミュニケーションを取れなかったりするからです。コロナ過の今、Zoom での仕事も多くあると思うのでオーバーなリアクションを心掛けたいです。			
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップでは、普段できない経験をする事ができたため参加して本当に良かったです。人前で発表することは特に、普段なかなかないためインターンシップで多く発表することができて良かったです。また、他学生とは休憩中に世間話で盛り上がったり、交流を深められたおかげで、グループワークで意見を言いやすい雰囲気のできた気がします。また、振り返りでフィードバックをいただき、自分の長所・短所の発見ができました。これから、さらに自己分析をしていこうと思います。			

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	愛媛県警察				〔研修担当者： 重松克樹 様〕	
研 修 期 間	2022 年 9 月 5 日 ~ 9 月 9 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	j3021020		
			氏 名	紀伊由里佳		
研 修 内 容	1 日目・開会式、オリエンテーション(実習内容説明、注意事項説明、自己紹介)、通信指令課見学、警察学校見学、交通鑑識業務体験、高速隊業務体験 2 日目・警察署・交番見学、鑑識業務体験、科捜研業務体験、遺失・取得受理体験 3 日目・逮捕術・護身術訓練体験、職務質問体験、サイバー犯罪捜査体験、災害警備活動教養、グループワーク 4 日目・無線施設見学、機動捜査隊見学、交通センター見学、交通機動隊庁舎見学、音楽隊訓練見学、白バイ訓練見学、夜間視認性訓練体験 5 日目・機動隊訓練体験、警護訓練体験、制服着用体験、装備品着用体験					
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	インターンシップ研修を終えて、私は「働くこと」、「社会人になるということ」ということは自分だけでなく、人のために動いているという実感を持つことだと思います。警察には様々な課や部署があり、連携して治安維持に務めています。そのため、ただ業務をこなすだけでは、万が一の際、組織全体に迷惑をかけてしまうことになります。また、警察業務には直接的に人の命を守る仕事もあります。そのため、一つ一つの仕事に責任感を持つことの大切さも学びました。					
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	私は、今後の学校生活において、2つのことを今後の生活に生かしていきたいと考えています。1 つ目は積極的に行動すること、2 つ目は傾聴力を鍛えることです。研修中にグループワークを体験した際、他大学生の方と比べ、自分の意見を出せていないところがありました。そのため、まずは「動く」を意識して学校生活を過ごしていきたいと思います。また、遺失・拾得受理体験での体験から、傾聴力を鍛える必要性を感じました。そのため、人と話す際は「相手の言いたいことを考えながら会話をする」ということを意識していきたいです。					
インターンシップに参加しての感想など	インターンシップ研修に参加して、警察業務の多様性について知ることができたのが1番の成果だと考えています。インターンシップ研修を受ける前に、警察業務について自分なりに調べていましたが、実際の研修を通して、調べていた倍のことを知ることができました。また、警察業務について、責任感や厳しさを知ると共に、やりがいや達成感を感じることができる魅力溢れる仕事だと学びました。今後は学んだことを無駄にせず、就職活動に生かしていきたいです。					

2022 年 インターンシップ研修報告書

研 修 先	ラポール 持田店			〔研修担当者：橘 憲一郎 様〕	
研 修 期 間	2022 年 9 月 2 日 ~ 9 月 7 日 (実働 5 日間)	研 修 生	学 籍No.	3021035	
			氏 名	辻陽向	
研 修 内 容	一日目 オンライン会議(痛みのワーク) 二日目～四日目 お店の拭き掃除、ラッピング作り、ケーキなどの箱作り、接客 五日目 店長会				
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	「働くこと」とはやりがいを感じることでと思います。店長様が昔、接客をやっていたところ働き甲斐を感じなく、厨房のケーキ職人になったというお話をお聞きました。自分が向いていないと感じていてもやってみることでやりがいを感じているらしく、そこから働くこととはやりがいを感じることでと思います。 「社会人になること」とは責任感だと感じました。学生の際は欠席や遅刻をしても怒られませんが、社会人になると遅刻などといった少しのミスでも迷惑をかけてしまい、社会的責任が問われるため責任感だと感じました。				
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	今後の学生生活としては、授業や友達と過ごす時間など残りの時間を大切に過ごして、課題などやるべきことは最後まで真剣に取り組んでいきたいと思っています。未来の自分の探し方としては、まず自分の資質や持っている力をどのような場所で活かすことが出来るのか、自分がどんな仕事に興味や関心があるのか考えていきたいです。				
インターンシップに参加しての感想など	今回のインターンシップでは、職場の体験でなく、自分自身を見つめ直すきっかけを作ってくださいました。自分自身を見つめ直すことで、自信につながり、沢山質問や意見交換ができたと感じております。また、ラポール様ではお客様に接客をする際、おもてなしの心を忘れず対応することを教えてくださいました。間近で拝見することで、こういった声掛けをすればいいのか、対応の仕方を沢山学ぶ機会が多かったです。今後はこのインターンシップで学んだことをアルバイトや学生生活でも活かしていきたいと感じています				